

第3章

設問項目ごとの集計結果
(高齢者一般用調査)

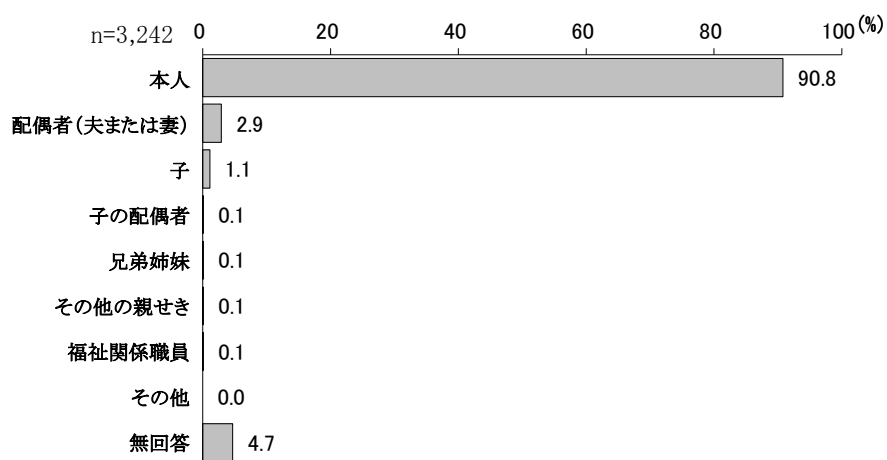
第3章 設問項目ごとの集計結果

1 調査対象者の属性

(1) 調査票の記入者

問1 この調査票を記入される方は、ご本人から見て、どなたにあたりますか。ご本人から見た続柄等でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

○調査票の記入者は「本人」(90.8%)が最も多く、次いで、「配偶者(夫または妻)」(2.9%)、「子」(1.1%)となっています。

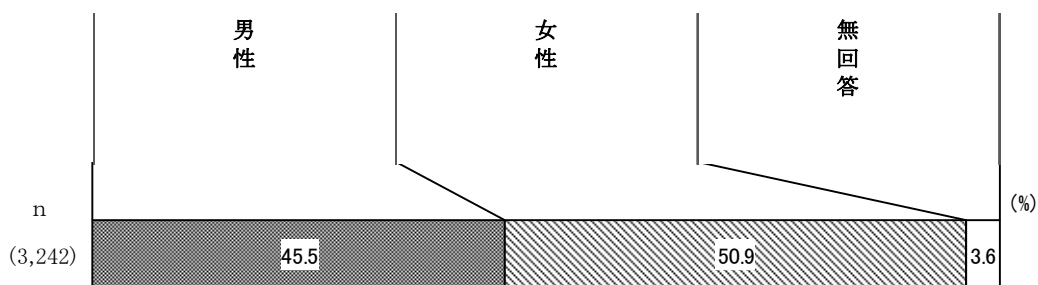


(2) 性別

問2 ご本人の性別をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

※現在の社会生活上の性別（自分がどちらの性として日常生活を送っているか）をお答えください。

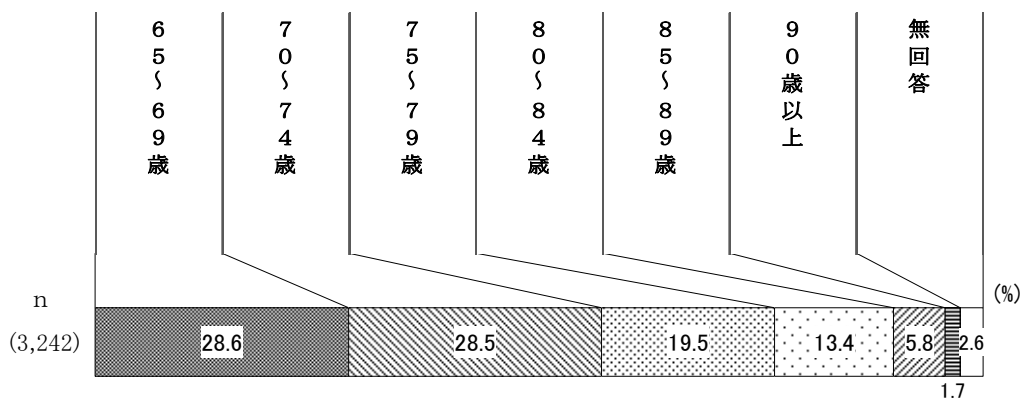
○性別は、「男性」(45.5%)、「女性」(50.9%)となっています。



（3）年齢

問3 ご本人の年齢をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

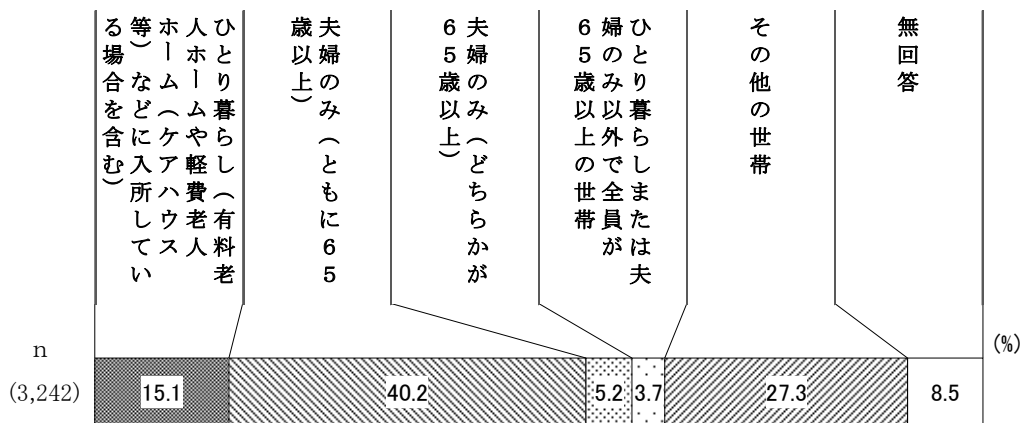
○年齢は、「65～69歳」（28.6%）、「70～74歳」（28.5%）がともに多く、前期高齢者（65～74歳）が57.1%を占めています。なお、前回調査（平成28年度）では、「65～69歳」が30.6%、「70～74歳」が22.9%でした。



（4）世帯の状況

問4 世帯の状況は、次のどれですか。（あてはまるもの1つに○）

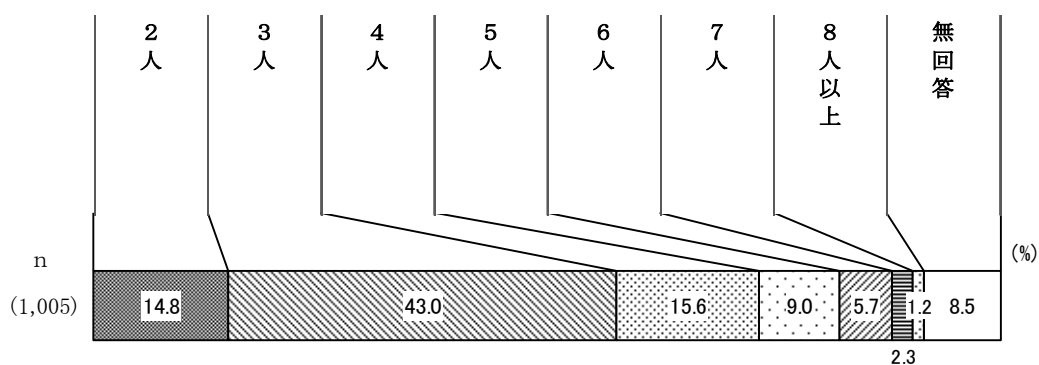
○世帯の状況は、「夫婦のみ（ともに65歳以上）」（40.2%）が最も多く、次いで、「その他の世帯」（27.3%）、「ひとり暮らし（有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス等）などに入所している場合を含む）」（15.1%）となっています。なお、65歳以上の高齢者のみの世帯の割合は59.0%で、前回調査（平成28年度）とほぼ同様（58.3%）の結果となっています。



（5）世帯全員の人数

問4-1 【問4で「ひとり暮らしまたは夫婦のみ以外で全員が65歳以上の世帯」「その他の世帯」に回答した方】
世帯全員の人数をお書きください。 _____人

○世帯の状況で「ひとり暮らしまたは夫婦のみ以外で全員が65歳以上の世帯」、「その他の世帯」と回答した方の世帯人数は、「3人」(43.0%)が最も多く、次いで、「4人」(15.6%)、「2人」(14.8%)となっています。



（6）居住地域（中学校区）

問5 現在お住まいの中学校区をお答えください。（あてはまるもの1つに○）
 （お近くの中学校をお選びください。わからない場合は町名を記入してください。）

○区別の構成比は、「青葉区」26.6%、「宮城野区」15.4%、「若林区」9.4%、「太白区」22.3%、「泉区」22.0%となっています。これは、本市の区別の高齢者の人口比とほぼ同じ割合となっています。

〈青 葉 区〉地区全体 26.6% n=863

五橋中	2.6	大沢中	1.4	折立中	1.2
上杉山中	2.0	北仙台中	2.0	広陵中	0.4
五城中	1.6	桜丘中	1.9	三条中	1.6
第一中	2.3	第二中	1.3	台原中	2.3
中山中	2.1	錦ヶ丘中	0.6	広瀬中	1.4
南吉成中	1.0	吉成中	0.8		

単位：%

〈宮 城 野 区〉地区全体 15.4% n=498

岩切中	1.6	幸町中	1.4	高砂中	1.7
田子中	1.1	鶴谷中	1.6	東華中	1.2
中野中	1.2	西山中	1.4	東仙台中	1.7
宮城野中	2.3				

単位：%

〈若 林 区〉地区全体 9.4% n=306

沖野中	1.4	蒲町中	1.6	七郷中	1.0
八軒中	1.9	南小泉中	2.3	六郷中	1.2

単位：%

〈太 白 区〉地区全体 22.3% n=722

秋保中	0.5	愛宕中	0.8	生出中	0.5
郡山中	2.6	富沢中	2.0	中田中	1.7
長町中	3.5	西多賀中	1.9	人来田中	1.0
袋原中	1.7	茂庭台中	0.6	八木山中	2.4
柳生中	1.2	山田中	2.0		

単位：%

第3章 設問項目ごとの集計結果（高齢者一般調査）

〈泉 区〉地区全体 22.0%

n=712

加茂中	2.1	向陽台中	1.4	将監中	1.5
将監東中	1.7	松陵中	1.2	住吉台中	0.7
高森中	1.3	長命ヶ丘中	1.1	鶴が丘中	1.8
寺岡中	1.1	七北田中	1.3	南光台中	1.8
南光台東中	0.8	根白石中	0.7	南中山中	1.3
八乙女中	1.5	館中	0.6		

単位：%

〈全 域〉

n=141

わからない	1.1	無回答	3.3
-------	-----	-----	-----

単位：%

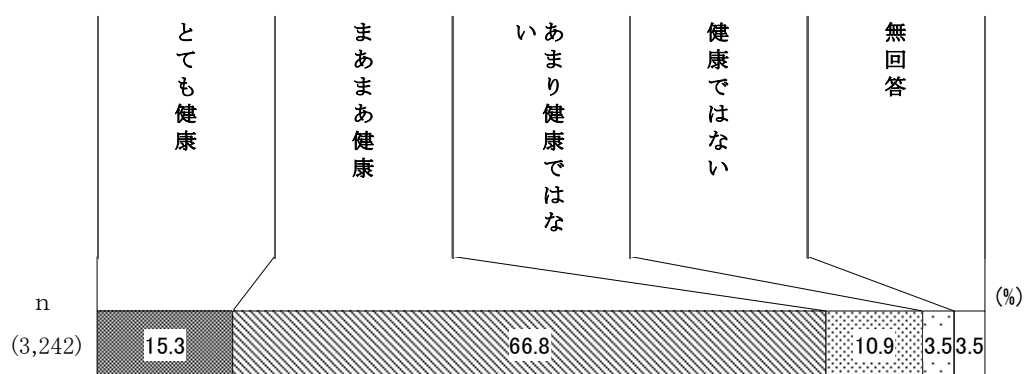
※地区全体の母数は、3,242 人です。

2 健康状態について

（1）健康状態

問6 健康状態をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

○健康状態は、「まあまあ健康」（66.8%）が最も多く、「とても健康」（15.3%）を合わせた82.1%が健康な状況です。一方、「あまり健康ではない」（10.9%）と「健康ではない」（3.5%）は合わせて14.4%となっています。なお、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせると、前回調査（平成28年度）より5.7ポイント高くなっています。



（2）日常生活の状況について

問7 日常生活の状況について、次にあげる①～⑪の各項目それぞれについて、該当する番号に○をつけてください。（①～⑪それぞれあてはまるもの1つに○）

○日常生活の状況は、「普通にできる」がどの項目も87.4～97.7%と最も多くなっています。
 なお、前回調査（平成28年度）でも、「普通にできる」がどの項目も78.6～92.1%を占めており、前回調査より日常生活の自立度の高い人が多くなっています。

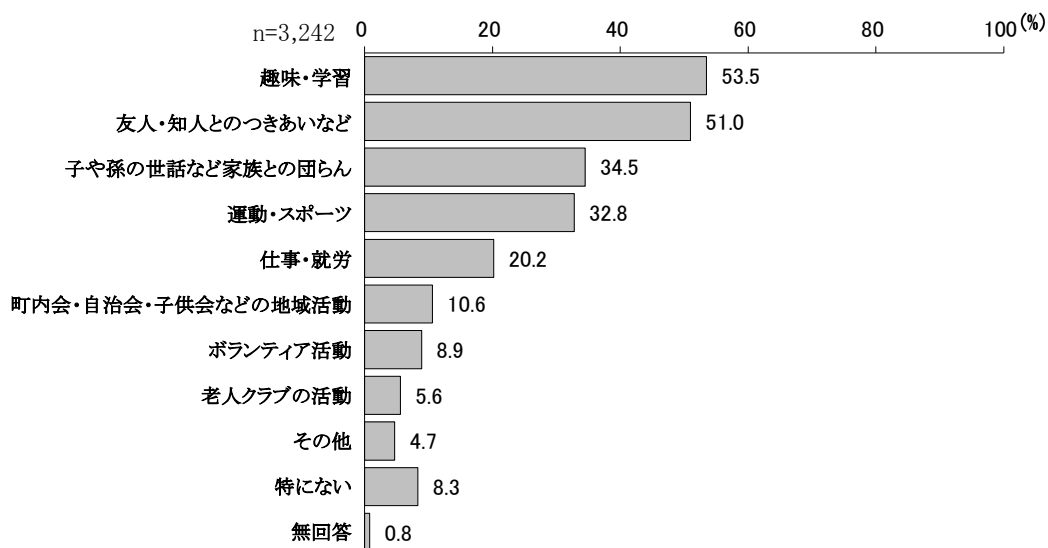
	調査数	普通にできる	で時間はかかるが一人で	手助けがあればできる	全的に介助が必要	無回答
上段：件数 下段：%						
①歩くことは一人でできますか	3,242 100.0	2,891 89.2	291 9.0	24 0.7	11 0.3	25 0.8
②食事は一人で食べることができますか	3,242 100.0	3,153 97.3	54 1.7	3 0.1	4 0.1	28 0.9
③トイレは一人でできますか	3,242 100.0	3,168 97.7	36 1.1	4 0.1	4 0.1	30 0.9
④お風呂は一人で入れますか	3,242 100.0	3,145 97.0	46 1.4	14 0.4	7 0.2	30 0.9
⑤着替えや洗顔、歯磨きなどは一人でできますか	3,242 100.0	3,158 97.4	46 1.4	3 0.1	4 0.1	31 1.0
⑥買い物は一人でできますか	3,242 100.0	3,017 93.1	98 3.0	62 1.9	25 0.8	40 1.2
⑦調理は一人でできますか	3,242 100.0	2,833 87.4	207 6.4	97 3.0	34 1.0	71 2.2
⑧洗濯や掃除は一人でできますか	3,242 100.0	2,926 90.3	173 5.3	50 1.5	33 1.0	60 1.9
⑨バスや電車などは一人で利用できますか	3,242 100.0	2,993 92.3	91 2.8	64 2.0	42 1.3	52 1.6
⑩電話は一人でかけることができますか	3,242 100.0	3,124 96.4	45 1.4	23 0.7	17 0.5	33 1.0
⑪金銭の管理は一人でできますか	3,242 100.0	3,105 95.8	61 1.9	31 1.0	11 0.3	34 1.0

3 楽しさ・生きがいについて

（1）楽しさや生きがいを感じる事【複数回答】

問8 現在の生活の中で、どのようなことに楽しさや生きがいを感じていますか。
（あてはまるものすべてに○）

○楽しさやいきがいを感じることは、多い順に「趣味・学習」(53.5%)、「友人・知人とのつきあいなど」(51.0%)、「子や孫の世話など家族との団らん」(34.5%)、「運動・スポーツ」(32.8%)となっています。また、「特にない」と回答した方は8.3%となっています。なお、前回調査（平成28年度）では、多い順に「友人・知人とのつきあいなど」(49.5%)、「趣味・学習」(48.0%)、「子や孫の世話など家族との団らん」(31.8%)、「運動・スポーツ」(27.0%)と順位は異なるもののほぼ同様の結果となっています。

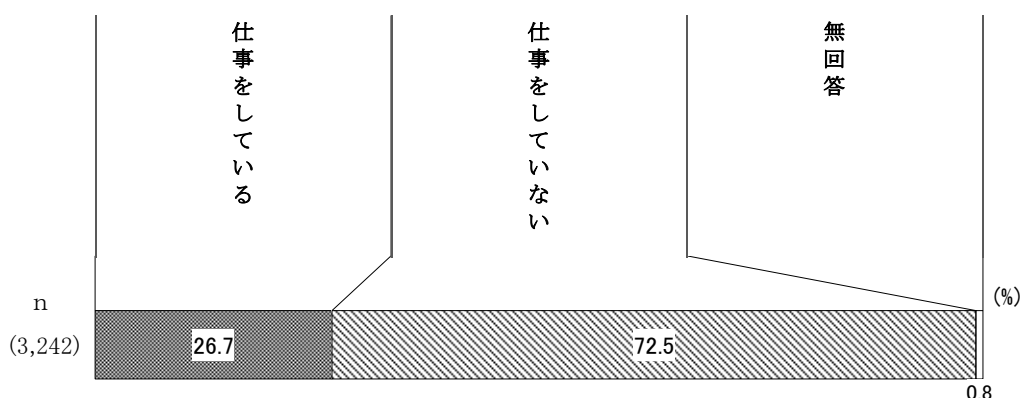


4 仕事について

（1）現在の仕事の有無

問9 現在、仕事をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

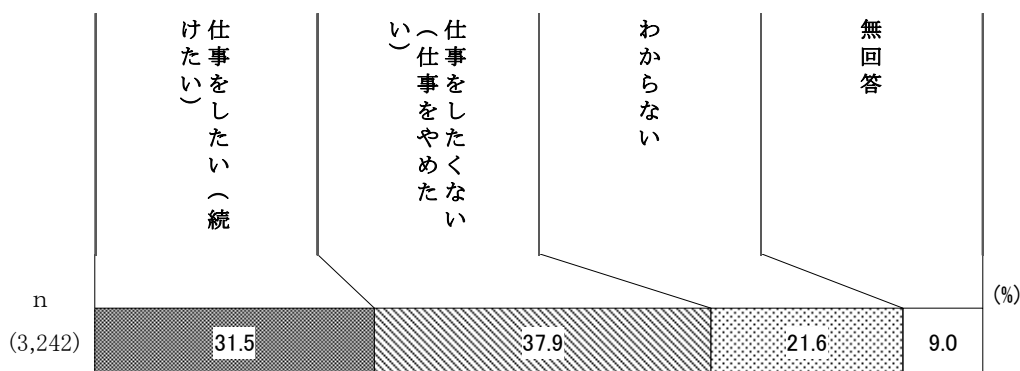
○現在の仕事の有無は、「仕事をしていない」が72.5%、「仕事をしている」が26.7%となっています。なお、前回調査（平成28年度）では、「仕事をしていない」が78.2%、「仕事をしている」が21.2%で、前回より仕事をしている方の割合が増えています。



（2）今後の仕事の意向

問10 今後、仕事をしたい（続けたい）と思いますか。（あてはまるもの1つに○）

○今後の仕事の意向は、「仕事をしたくない（仕事をやめたい）」（37.9%）が「仕事をしたい（続けたい）」（31.5%）を上回っています。なお、前回調査（平成28年度）では、「仕事をしたくない（仕事をやめたい）」が36.3%、「仕事をしたい（続けたい）」が27.9%で、前回より「仕事をしたい（続けたい）」方が3.6ポイント高くなっています。

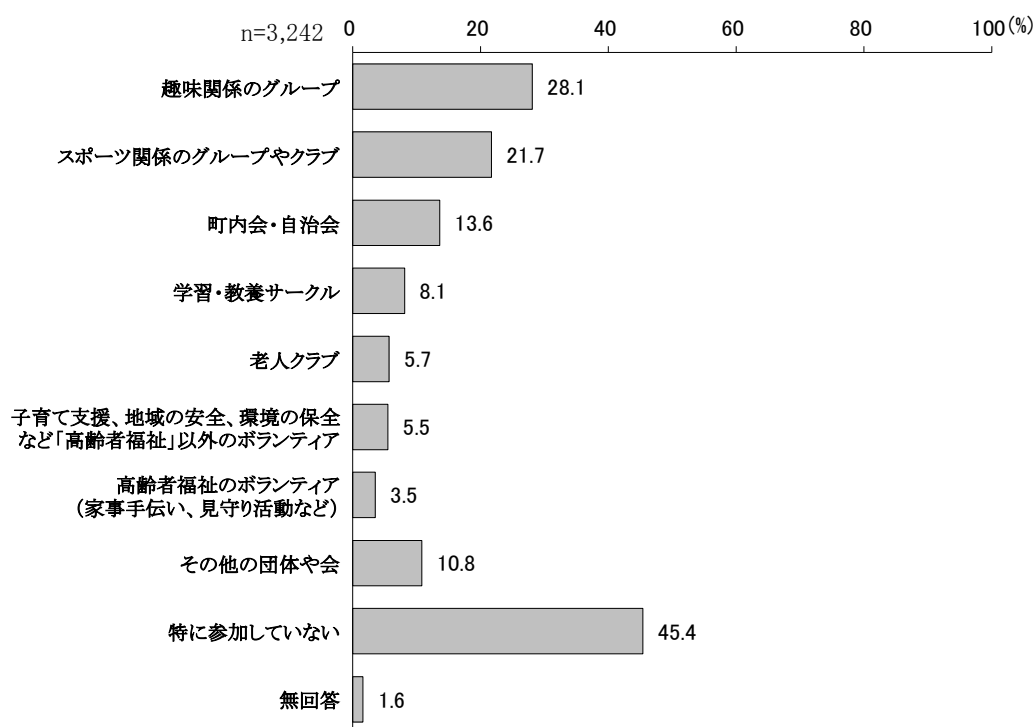


5 社会参加の状況と社会貢献について

（1）社会参加の状況【複数回答】

問11 社会参加についておたずねします。次のような会・グループ等に月1回以上参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

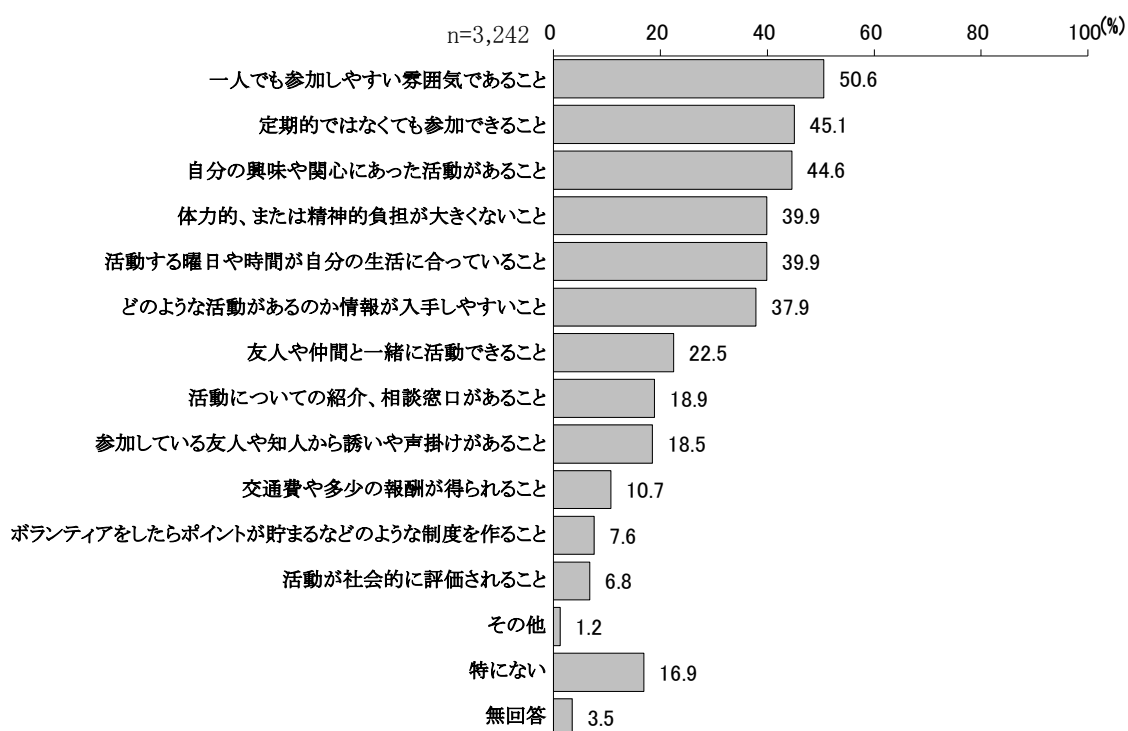
○社会参加の状況は、「特に参加していない」（45.4%）が最も多いものの、次いで、「趣味関係のグループ」（28.1%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（21.7%）、「町内会・自治会」（13.6%）となっています。



（2）地域活動や福祉活動に参加しやすくなるために必要なこと【複数回答】

問12 地域活動や福祉活動に参加しやすくするために必要だと思うことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

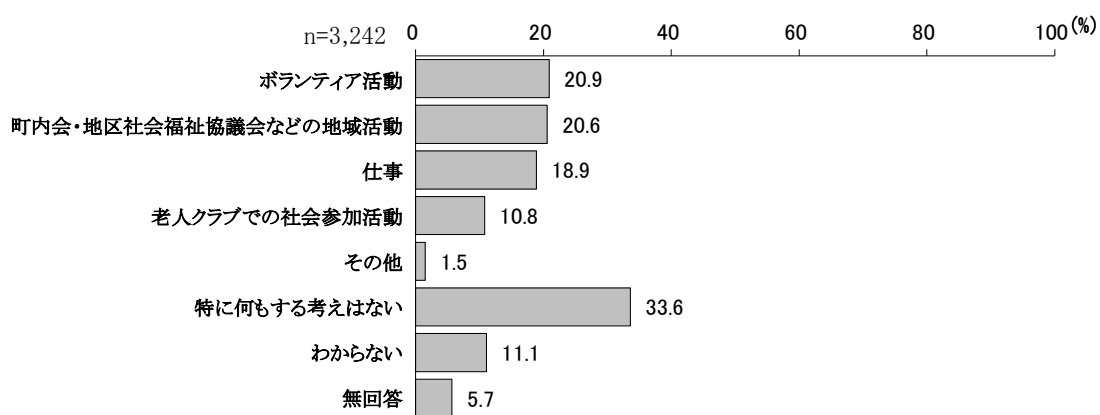
○地域活動や福祉活動に参加しやすくなるために必要なことは、「一人でも参加しやすい雰囲気であること」（50.6%）が最も多く、次いで、「定期的ではなくても参加できること」（45.1%）、「自分の興味や関心にあった活動があること」（44.6%）、「体力的、または精神的負担が大きくないこと」、「活動する曜日や時間が自分の生活に合っていること」（ともに39.9%）、「どのような活動があるのか情報が入手しやすいこと」（37.9%）となっています。



（3）地域社会に貢献してみたいと思うこと【複数回答】

問13 今後、少子高齢化がさらに進むことが予想されますが、その中で、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されます。そのような中、地域社会にどのような形で貢献してみたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

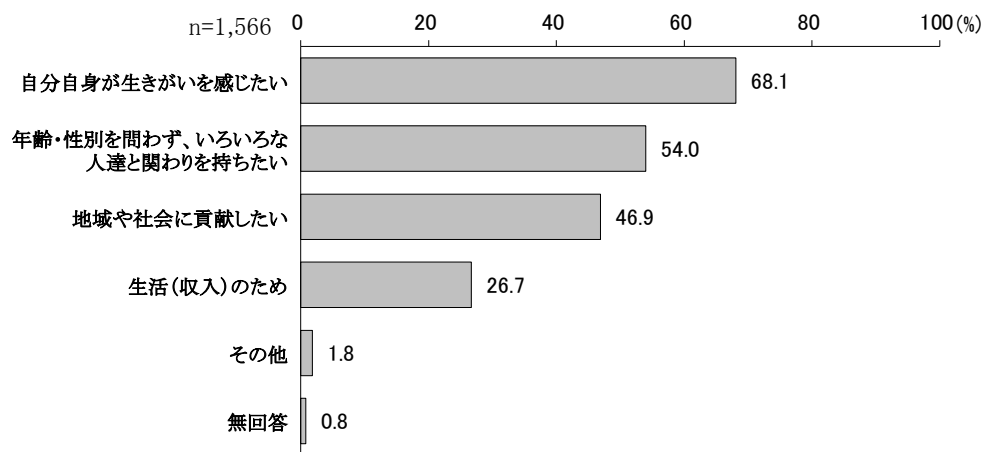
○地域社会に貢献してみたいと思うことは、「ボランティア活動」（20.9%）、「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」（20.6%）、「仕事」（18.9%）、「老人クラブでの社会参加活動」（10.8%）となっている一方、「特に何もする考えはない」（33.6%）が最も多くなっています。



（4）地域社会に貢献してみたいと思う理由【複数回答】

問13-(1) 【問13で「仕事」「ボランティア活動」「老人クラブでの社会参加活動」「町内会・地区社会福祉協議会などの地域活動」に回答した方】
その理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

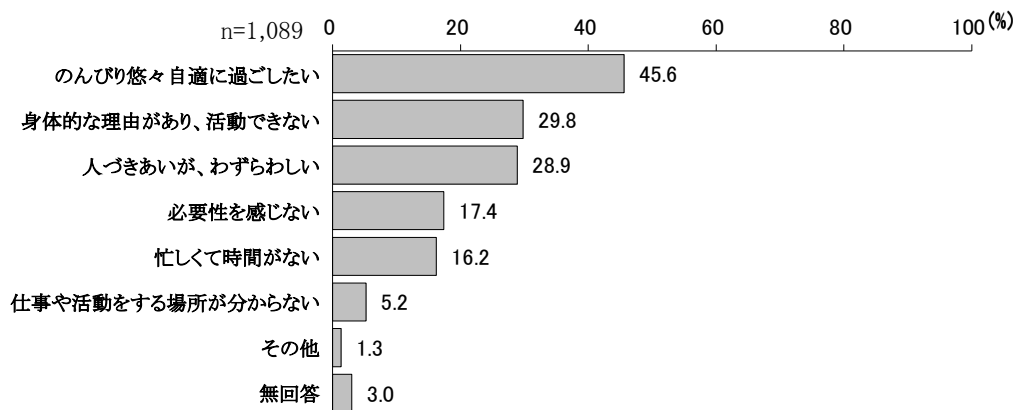
○地域社会に貢献してみたいと思う理由は、「自分自身が生きがいを感じたい」（68.1%）が最も多く、次いで、「年齢・性別を問わず、いろいろな人達と関わりを持ちたい」（54.0%）、「地域や社会に貢献したい」（46.9%）、「生活（収入）のため」（26.7%）となっており、順番は前回と変わっていません。なお、「自分自身が生きがいを感じたい」は前回調査（平成28年度）の59.1%より9.0ポイント高くなっています。



（5）地域社会に貢献する考えがない理由【複数回答】

問13-(2) 【問13で「特に何もする考えはない」に回答した方】
 その理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○地域社会に貢献する考えがない理由は、「のんびり悠々自適に過ごしたい」（45.6%）が最も多く、次いで、「身体的な理由があり、活動できない」（29.8%）、「人づきあいが、わずらわしい」（28.9%）となっています。なお、「必要性を感じない」は17.4%となっています。前回調査（平成28年度）より「身体的な理由があり、活動できない」（42.9%）は13.1ポイント低くなっている一方、「のんびり悠々自適に過ごしたい」（36.6%）は9.0ポイント、「忙しくて時間がない」（8.4%）は7.8ポイント、「必要性を感じない」（11.3%）は6.1ポイント、「人づきあいが、わずらわしい」（24.3%）は4.6ポイント高くなっています。

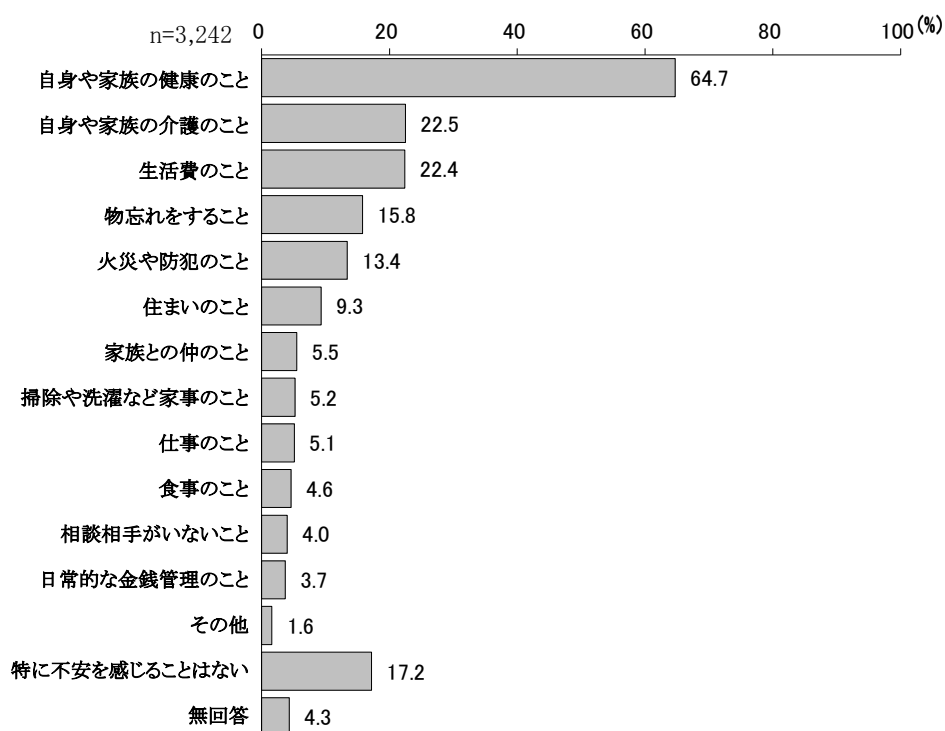


6 日常生活について

（1）日常生活に対する不安【複数回答】

問14 毎日の生活で不安を感じていることは、次のうちどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

○日常生活に対する不安は、「自身や家族の健康のこと」（64.7%）が最も多く、次いで、「自身や家族の介護のこと」（22.5%）、「生活費のこと」（22.4%）となっています。前回調査（平成28年度）より「物忘れをすること」（21.7%）は5.9ポイント、「生活費のこと」（26.6%）、「特に不安を感じることはない」（21.4%）はともに4.2ポイント低くなっています。

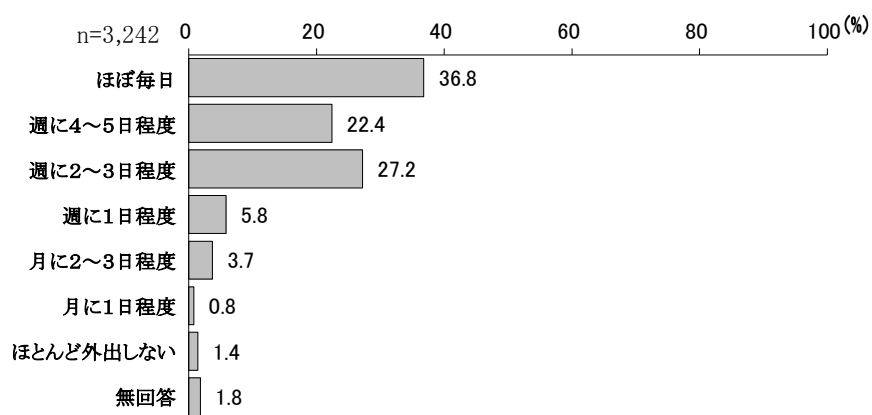


7 外出について

（1）外出の頻度

問15 普段どの程度外出していますか。（あてはまるもの1つに○）

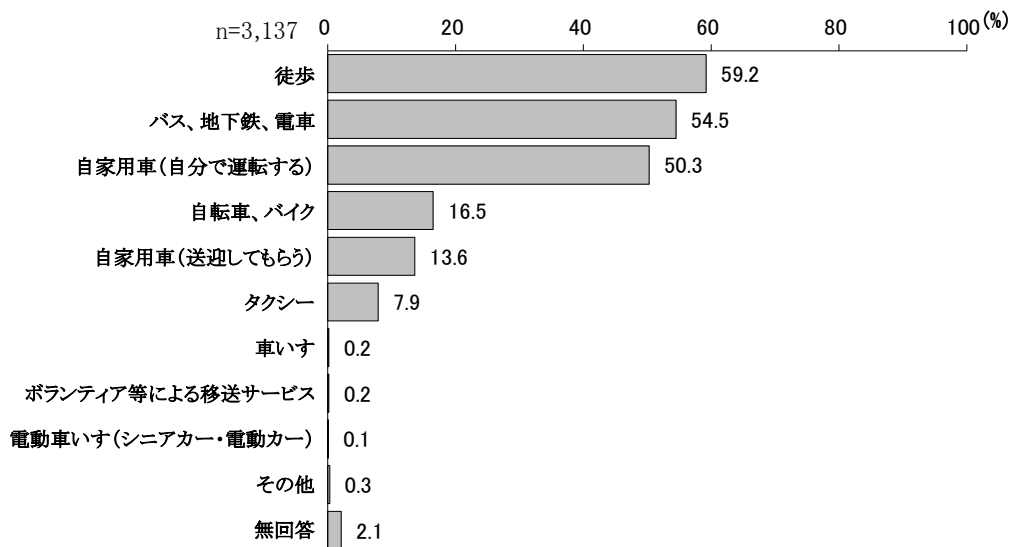
○外出の頻度は、「ほぼ毎日」(36.8%)が最も多く、次いで、「週に2～3日程度」(27.2%)、「週に4～5日程度」(22.4%)となっています。一方、「ほとんど外出しない」(1.4%)という回答もありました。なお、前回調査（平成28年度）では、「ほぼ毎日」が31.9%、「週に2～3日程度」が27.0%、「週に4～5日程度」が21.2%で、今回は「ほぼ毎日」が4.9ポイント、「週に4～5日程度」が1.2ポイント高く、外出頻度の高い人がやや増えています。



（2）外出の際の交通手段【複数回答】

問15-(1) 【問15で月に1日以上外出すると回答した方】
 普段どのような方法で外出しますか。（主なもの3つまで○）

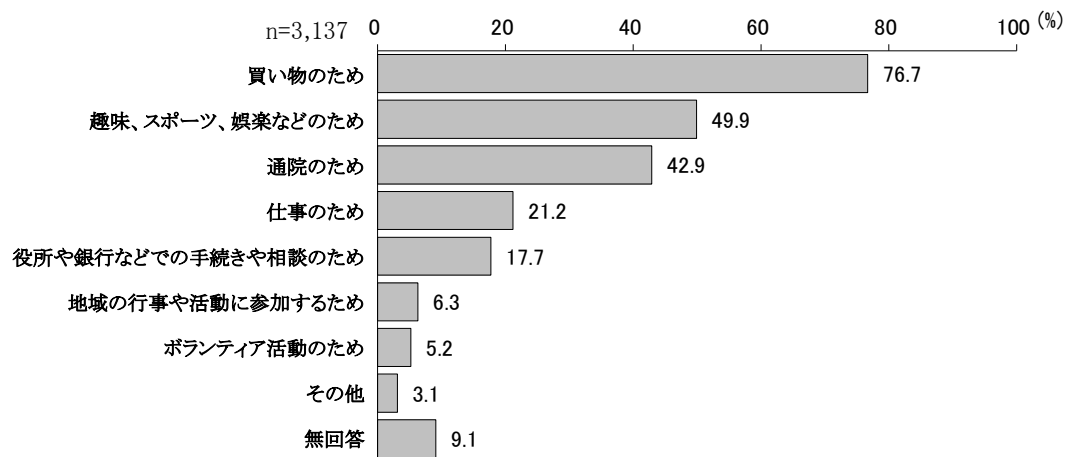
○外出の際の交通手段は、「徒歩」（59.2%）が最も多く、次いで、「バス、地下鉄、電車」（54.5%）、「自家用車（自分で運転する）」（50.3%）となっています。



（3）外出の目的【複数回答】

問15-(2) 【問15で月に1日以上外出すると回答した方】
普段どのような目的で外出しますか。（主なもの3つまで○）

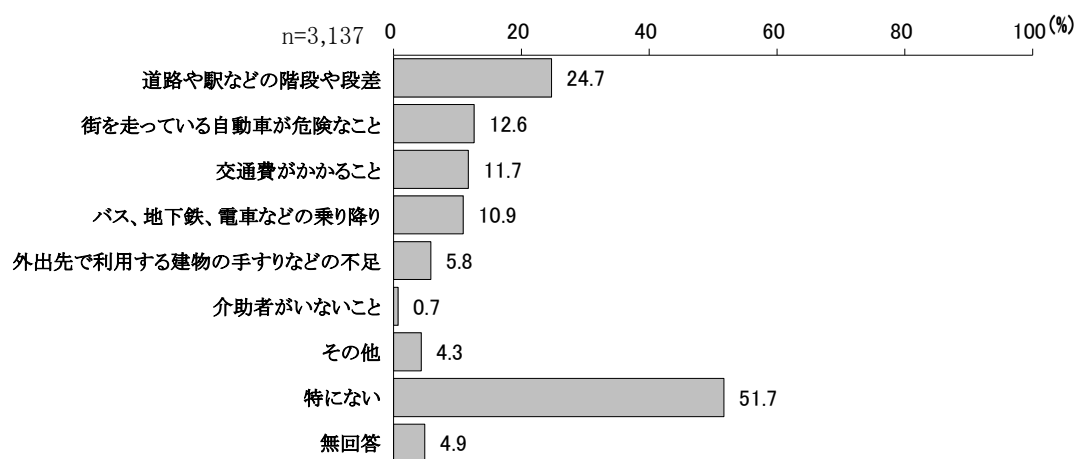
○外出の目的は、「買い物のため」（76.7%）が最も多く、次いで、「趣味、スポーツ、娯楽などのため」（49.9%）、「通院のため」（42.9%）となっています。



（4）外出の際に困ること【複数回答】

問15-(3) 【問15で月に1日以上外出すると回答した方】
 外出の際、お困りになることは次のうちどれですか。
 （あてはまるものすべてに○）

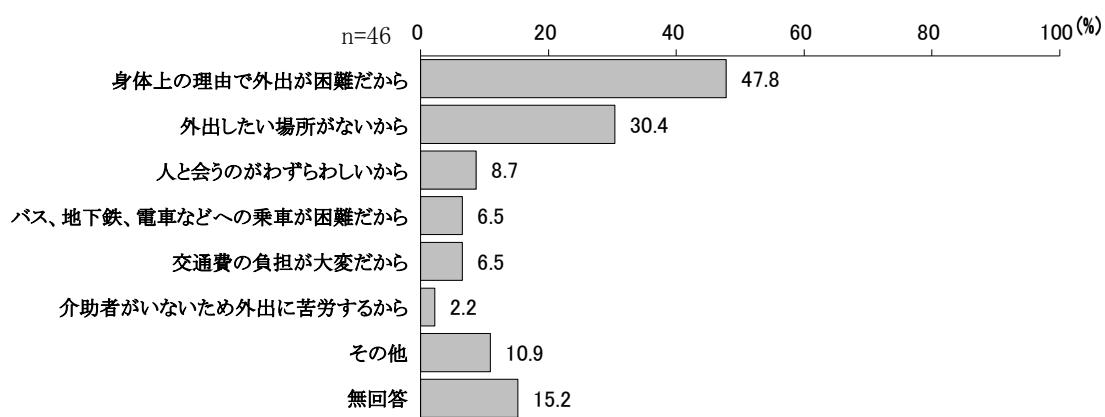
○外出の際に困ることは、「特にない」（51.7%）が最も多いものの、次いで、「道路や駅などの階段や段差」（24.7%）、「街を走っている自動車が危険なこと」（12.6%）、「交通費がかかること」（11.7%）、「バス、地下鉄、電車などの乗り降り」（10.9%）となっています。



（5）外出しない理由【複数回答】

問15-(4) 【問15で「ほとんど外出しない」に回答した方】
その理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○外出しない理由は、「身体上の理由で外出が困難だから」（47.8%）が最も多く、次いで、「外出したい場所がないから」（30.4%）となっています。なお、前回調査（平成28年度）では、「身体上の理由で外出が困難だから」が77.7%で、今回は29.9ポイント低く、「介助者がいないため外出に苦勞するから」が13.6%で、今回は11.4ポイント低く、「外出したい場所がないから」が10.7%で、今回は19.7ポイント高くなっています。

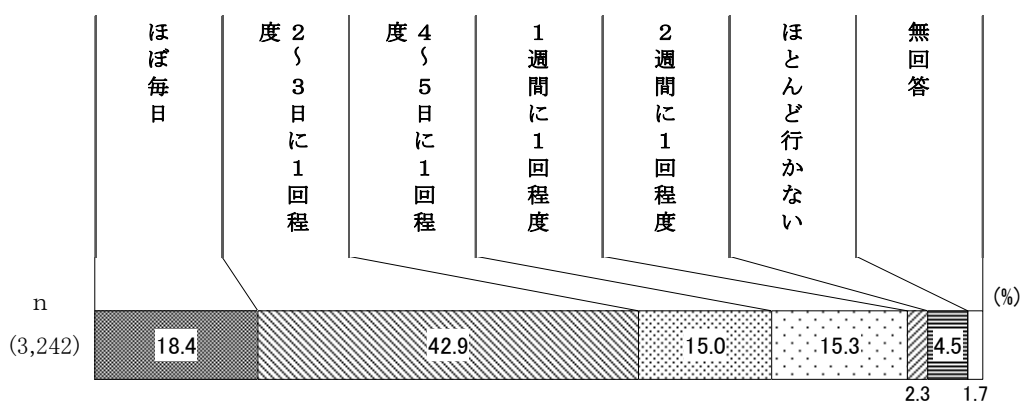


8 買い物について

（1）買い物の頻度

問16 どれくらいの頻度で食料品や日用品の買い物に行っていますか。
（あてはまるもの1つに○）

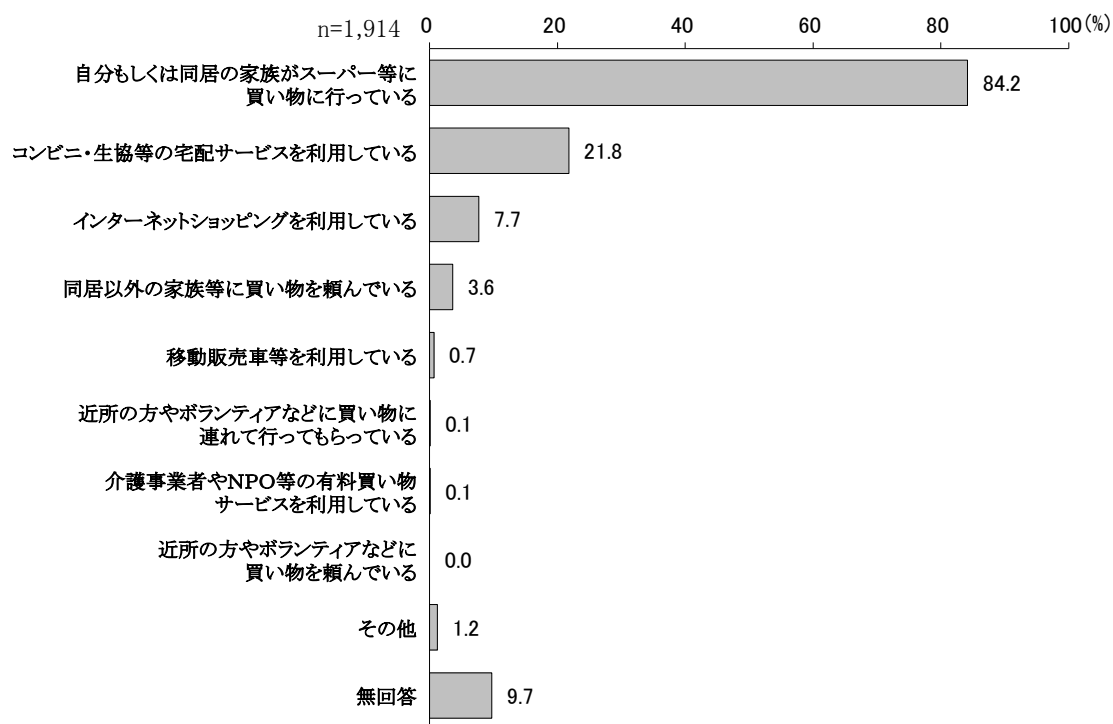
○買い物の頻度は、「2～3日に1回程度」（42.9%）が最も多く、次いで、「ほぼ毎日」（18.4%）、「1週間に1回程度」（15.3%）、「4～5日に1回程度」（15.0%）となっています。なお、前回調査（平成28年度）では、「2～3日に1回程度」が38.0%で、今回は4.9ポイント高く、「ほとんど行かない」が9.5%で、今回は5.0ポイント低くなっています。



（2）買い物の手段【複数回答】

問17 【問4でひとり暮らし、もしくは65歳以上の高齢者のみの世帯と回答した方】
 食料品や日用品など生活に必要な物資をどのような手段で入手していますか。
 （あてはまるものすべてに○）

○買い物の手段は、「自分もしくは同居の家族がスーパー等に買い物に行っている」(84.2%)
 が最も多く、次いで、「コンビニ・生協等の宅配サービスを利用している」(21.8%)、「イ
 ンターネットショッピングを利用している」(7.7%) となっています。

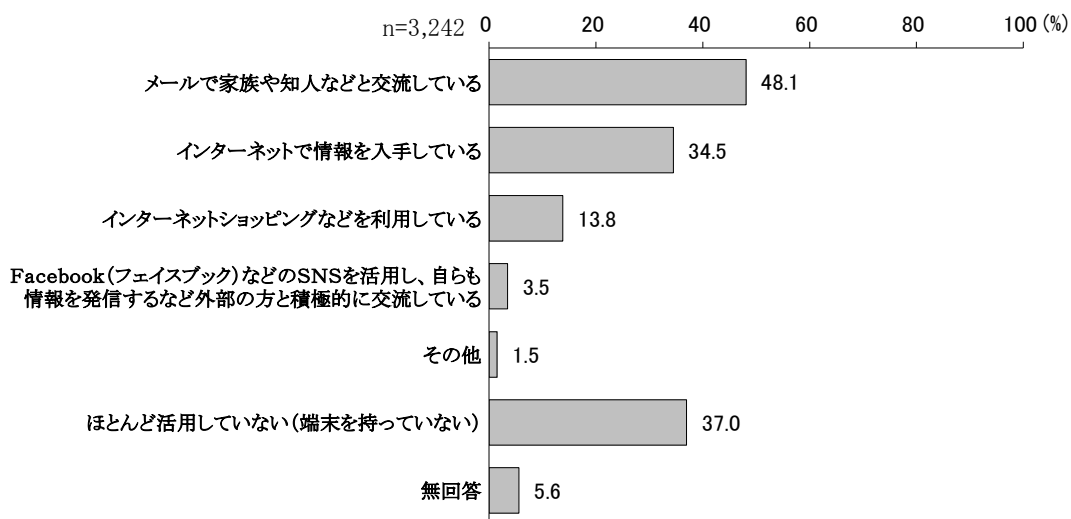


9 地域社会との関わり方について

(1) インターネットやスマートフォン等の活用頻度【複数回答】

問18 普段の生活でインターネットやスマートフォン等をどの程度活用していますか。
（あてはまるものすべてに○）

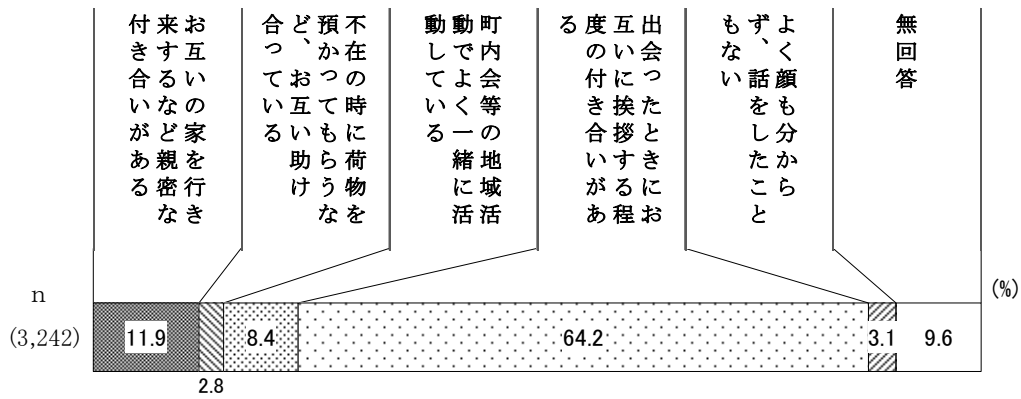
○インターネットやスマートフォン等の活用頻度は、「メールで家族や知人などと交流している」（48.1%）が最も多く、次いで、「インターネットで情報を入手している」（34.5%）、「インターネットショッピングなどを利用している」（13.8%）となっています。なお、「ほとんど活用していない（端末を持っていない）」は37.0%となっています。



（2）近隣との付き合い状況

問19 近所の方とどの程度お付き合いがありますか。（あてはまるもの1つに○）

○近隣との付き合い状況は、「出会ったときお互いに挨拶する程度の付き合いがある」（64.2%）が最も多く、次いで、「お互いの家を行き来するなど親密な付き合いがある」（11.9%）、「町内会等の地域活動でよく一緒に活動している」（8.4%）となっています。

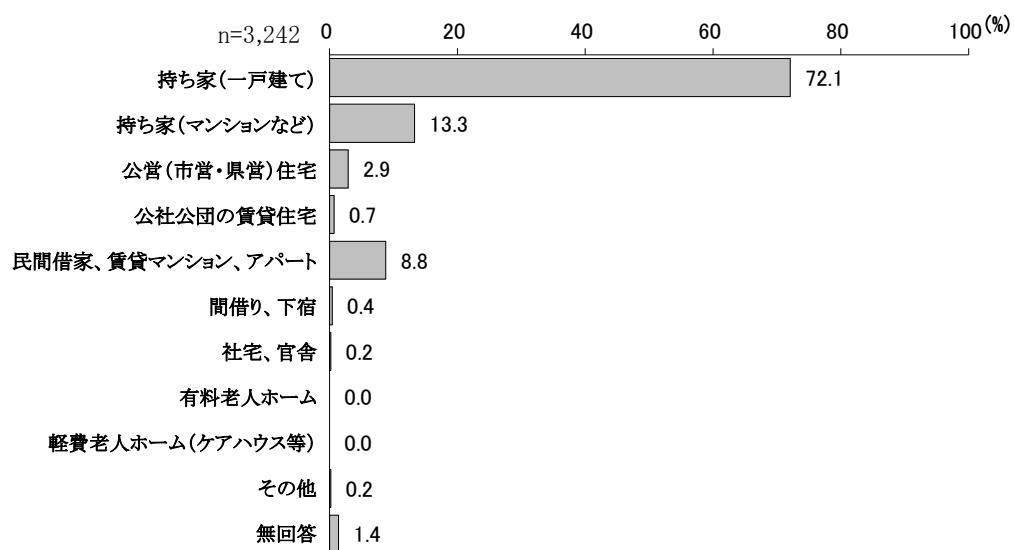


10 住宅、住み替え意向について

（1）居住形態

問20 現在のお住まいは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

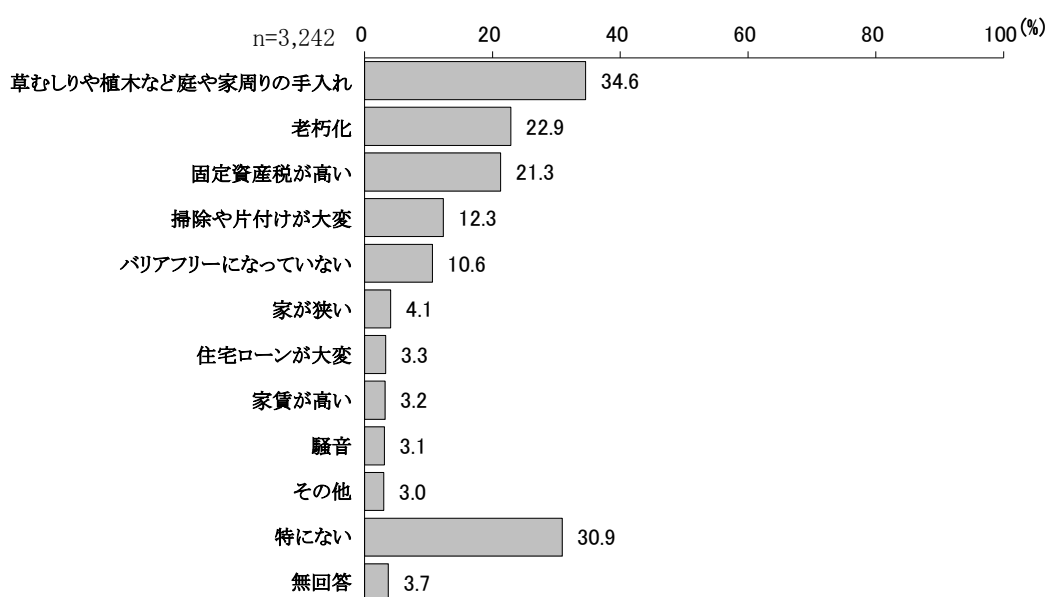
○居住形態は、「持ち家（一戸建て）」（72.1%）が最も多く、次いで、「持ち家（マンションなど）」（13.3%）、「民間借家、賃貸マンション、アパート」（8.8%）となっています。



（2）住宅に関して困っていること【複数回答】

問21 現在お住まいの住宅に関して困っていることはありますか。
 （あてはまるものすべてに○）

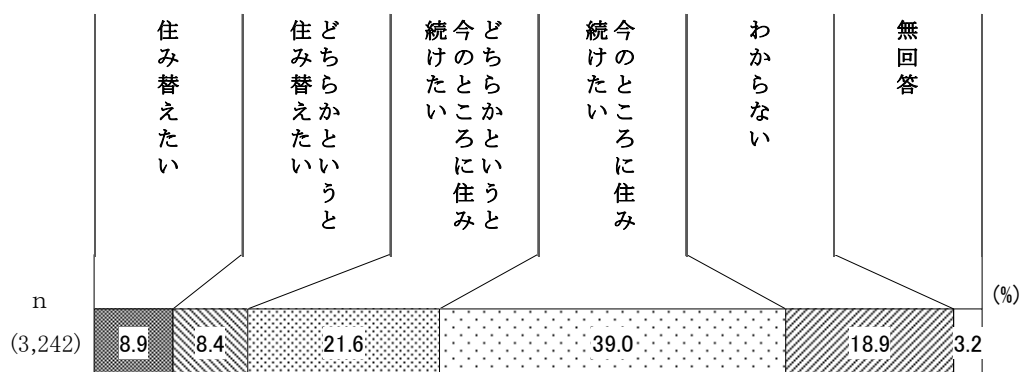
○住宅に関して困っていることは、「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」（34.6%）が最も多く、次いで、「老朽化」（22.9%）、「固定資産税が高い」（21.3%）、「掃除や片付けが大変」（12.3%）、「バリアフリーになっていない」（10.6%）となっています。また、「特にない」も30.9%と多く、全ての項目が前回調査（平成28年度）とほぼ同様の結果になっています。



（3）介護が必要になった際の住み替えの意向

問22 介護が必要になったら現在お住まいの所からの住み替えを希望しますか。
（あてはまるもの1つに○）

○介護が必要になった際の住み替えの意向は、「今のところに住み続けたい」（39.0％）が最も多く、次いで、「どちらかという今ところに住み続けたい」（21.6％）が続き、両回答を合わせた《住み続けたい》が60.6％を占めています。

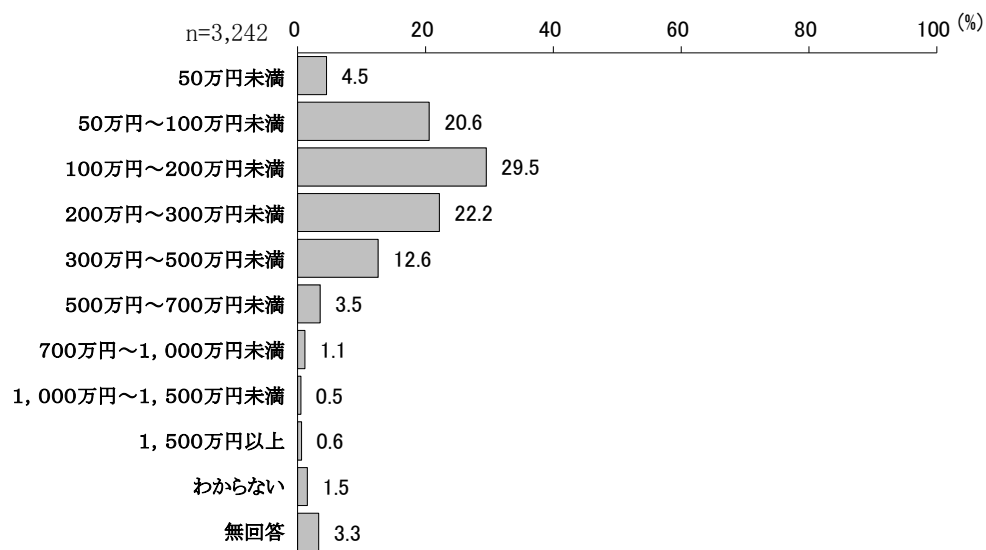


11 本人・世帯の年間総収入について

（1）本人の年間総収入

問23 ご本人の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の額は、およそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

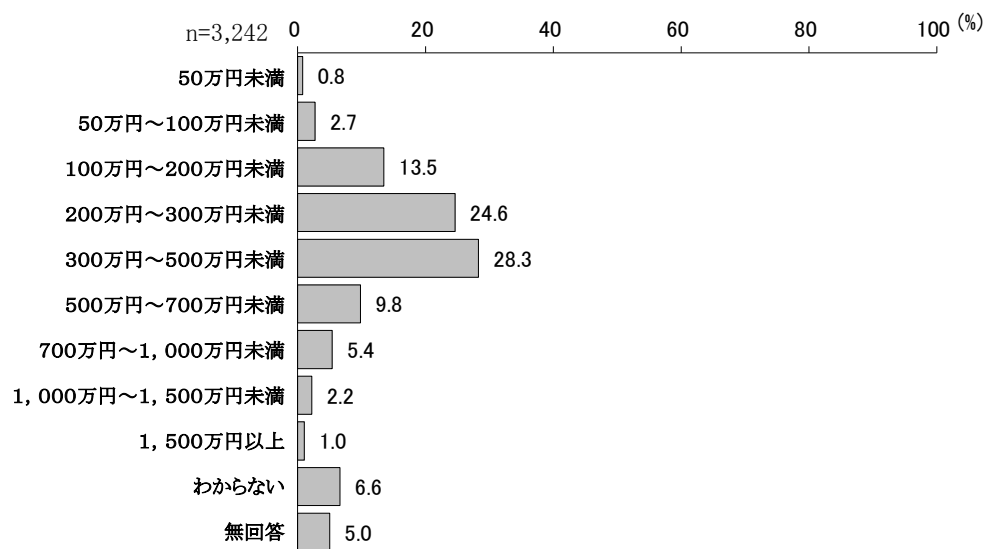
○本人の年間総収入は、「100万円～200万円未満」（29.5%）が最も多く、次いで、「200万円～300万円未満」（22.2%）、「50万円～100万円未満」（20.6%）となっています。



（2）世帯の年間総収入

問24 ご本人も含めた世帯全員の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の合計額は、およそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

○本人も含めた世帯全員の年間総収入は、「300万円～500万円未満」（28.3%）が最も多く、次いで、「200万円～300万円未満」（24.6%）、「100万円～200万円未満」（13.5%）となっています。

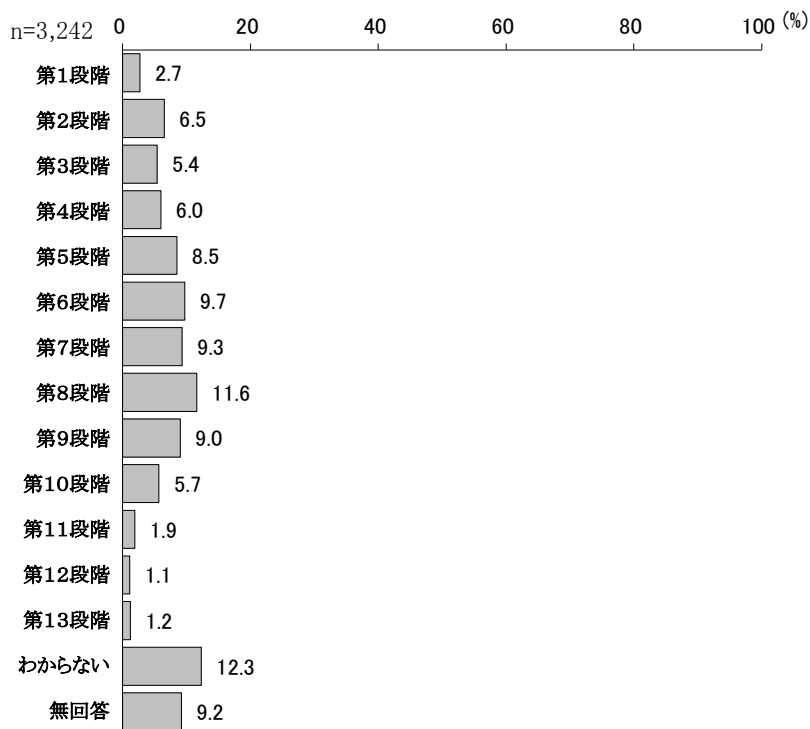


12 介護保険料について

（1）保険料段階

問25 ご本人の保険料段階は、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

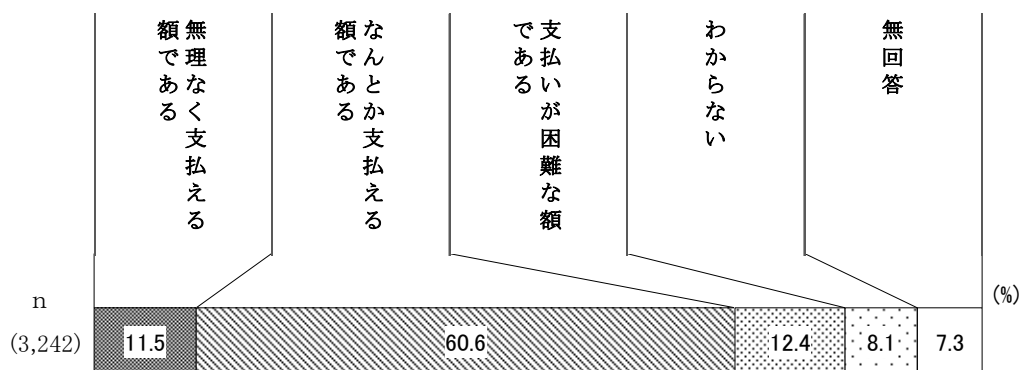
○保険料段階は、「第8段階」（11.6%）が最も多く、次いで、「第6段階」（9.7%）、「第7段階」（9.3%）、「第9段階」（9.0%）となっています。



（2）保険料の負担感

問26 現在の保険料額を、どのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

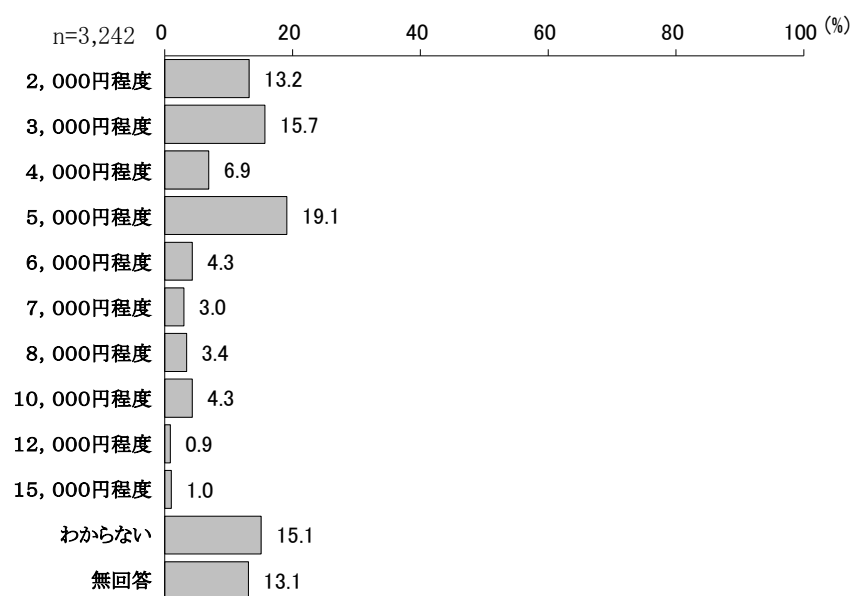
○保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」（60.6%）が最も多く、「無理なく支払える額である」（11.5%）を合わせると72.1%が《支払える額》と考えています。



（3）ひと月あたりの妥当と考える保険料額

問27 現在のご本人の保険料段階として、妥当と考える保険料の額は、ひと月あたりどのくらいの額ですか。（あてはまるもの1つに○）

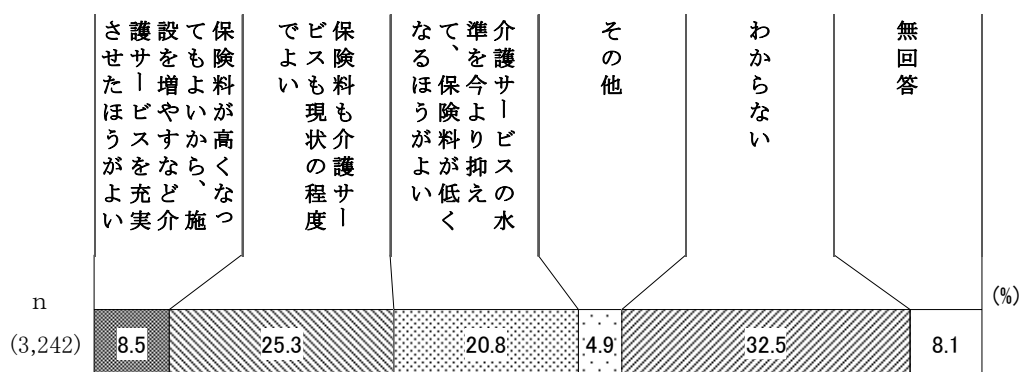
○ひと月あたりの妥当と考える保険料額は、「5,000円程度」(19.1%)が最も多く、次いで、「3,000円程度」(15.7%)、「2,000円程度」(13.2%)となっています。また、「わからない」は15.1%となっています。



（4）保険料と介護サービスのあり方

問28 介護保険料の基準額は、介護サービスをどれだけ利用したかによって決まります。よって、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどしてサービスの利用が増えれば、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いのは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○保険料と介護サービスのあり方は、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」（25.3%）が最も多く、次いで、「介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい」（20.8%）、「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい」（8.5%）となっています。



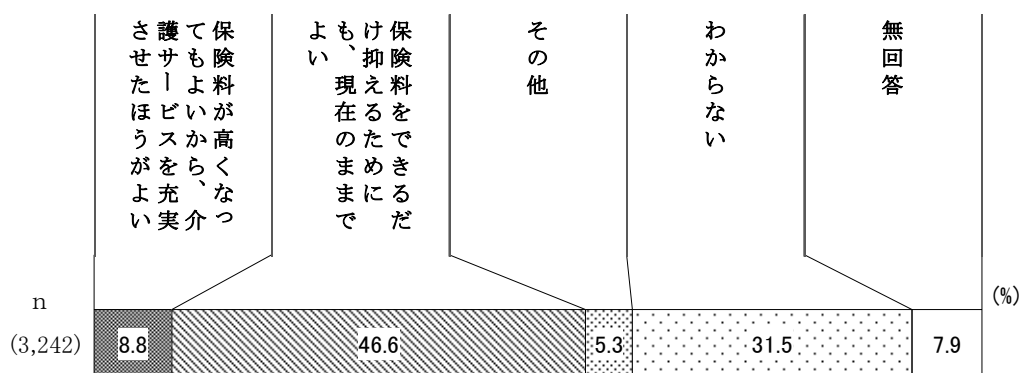
（5）市独自の介護サービスと保険料のあり方

問29 介護保険制度では、基本的なサービスの水準を国が定めていますが、仙台市の判断でその他のサービスを保険給付の対象に加えたり、サービスの利用限度額（1～3割負担で利用できる限度額）を高く設定することができます。

ただしこの場合、必要な経費は全額65歳以上の方の保険料でまかなうことになるため、皆様からいただく保険料が高くなります。

このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○市独自の介護サービスと保険料のあり方は、「保険料をできるだけ抑えるためにも、現在のままでよい」（46.6%）が最も多く、一方、「保険料が高くなってよいから、介護サービスを充実させたほうがよい」は8.8%となっています。また、「わからない」も31.5%と多くなっています。



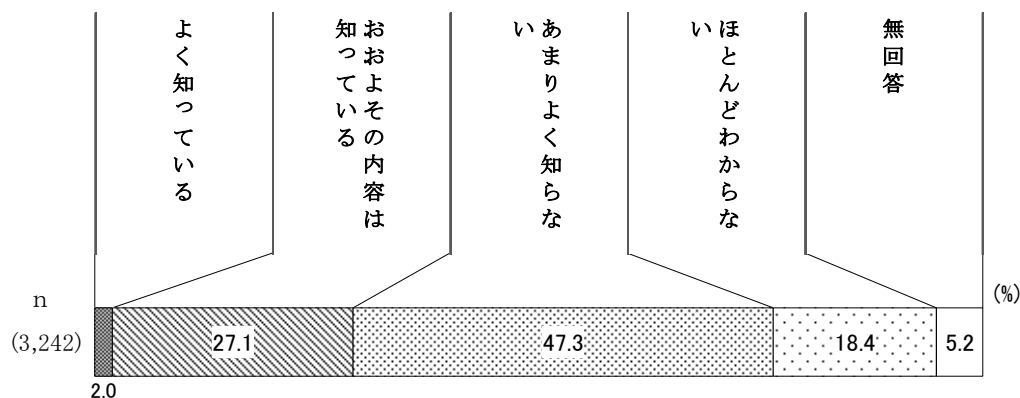
13 介護保険制度について

（1）介護保険制度の仕組みについての周知状況

問30 介護保険制度の仕組みなどについて、どの程度ご存知ですか。

（あてはまるもの1つに○）

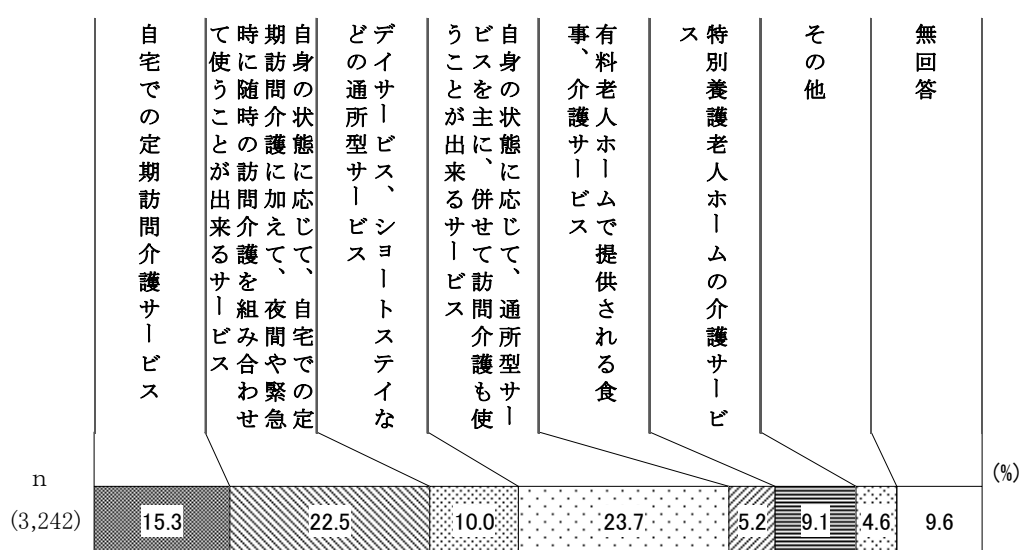
○介護保険制度の仕組みについての周知状況は、「よく知っている」（2.0%）と「おおよその内容は知っている」（27.1%）を合わせた《知っている》が29.1%、一方、「あまりよく知らない」（47.3%）と「ほとんどわからない」（18.4%）を合わせた《知らない》が65.7%となっており、《知らない》が《知っている》を大きく上回っています。



（2）今後利用したい介護サービス

問31 介護が必要となった場合、主にどのような介護サービスを使いたいと思いますか。
（あてはまるもの1つに○）

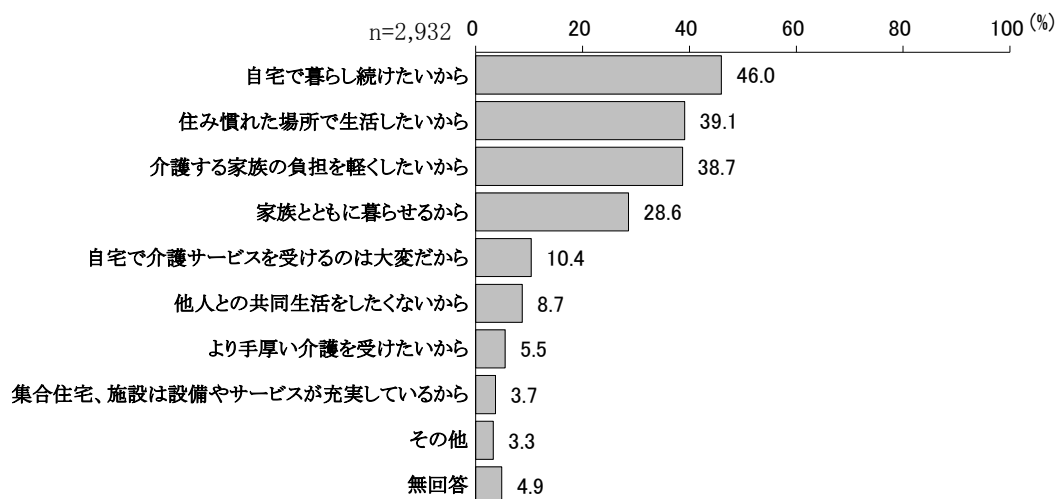
○介護が必要となった場合に使いたい介護サービスは、「自身の状態に応じて、通所型サービスを主に、併せて訪問介護も使うことが出来るサービス」（23.7%）が最も多く、次いで、「自身の状態に応じて、自宅での定期訪問介護に加えて、夜間や緊急時に随時の訪問介護を組み合わせることが出来るサービス」（22.5%）、「自宅での定期訪問介護サービス」（15.3%）となっています。



（3）その介護サービスを選んだ理由【複数回答】

問31-(1) 問31の介護サービスを選んだ理由は、次のうちどれですか。
 （あてはまるものすべてに○）

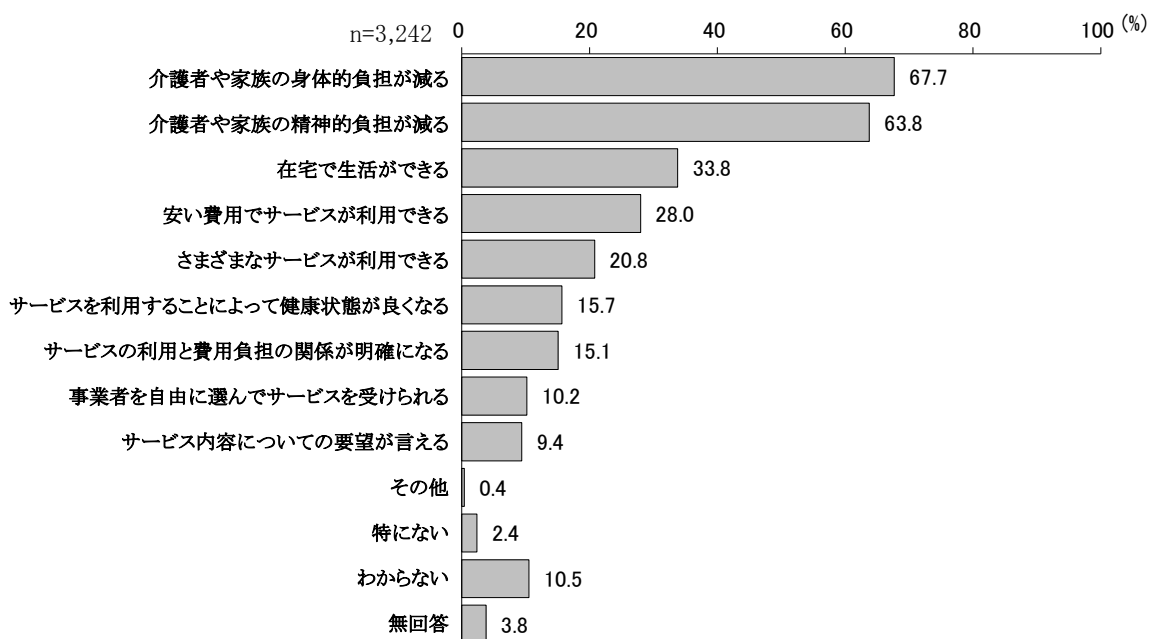
○使いたい介護サービスを選んだ理由は、「自宅で暮らし続けたいから」（46.0%）が最も多く、次いで、「住み慣れた場所で生活したいから」（39.1%）、「介護する家族の負担を軽くしたいから」（38.7%）となっています。なお、前回調査（平成28年度）では、「自宅で暮らし続けたいから」が35.1%で、今回は10.9ポイント高く、「住み慣れた場所で生活したいから」が29.8%で、今回は9.3ポイント高く、「自宅で介護サービスを受けるのは大変だから」が21.2%で、今回は10.8ポイント低く、「介護する家族の負担を軽くしたいから」が47.7%で、今回は9.0ポイント低くなっています。



（4）介護保険制度の利点【複数回答】

問32 介護保険制度のサービスを使うことによって、利点があると思われる点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

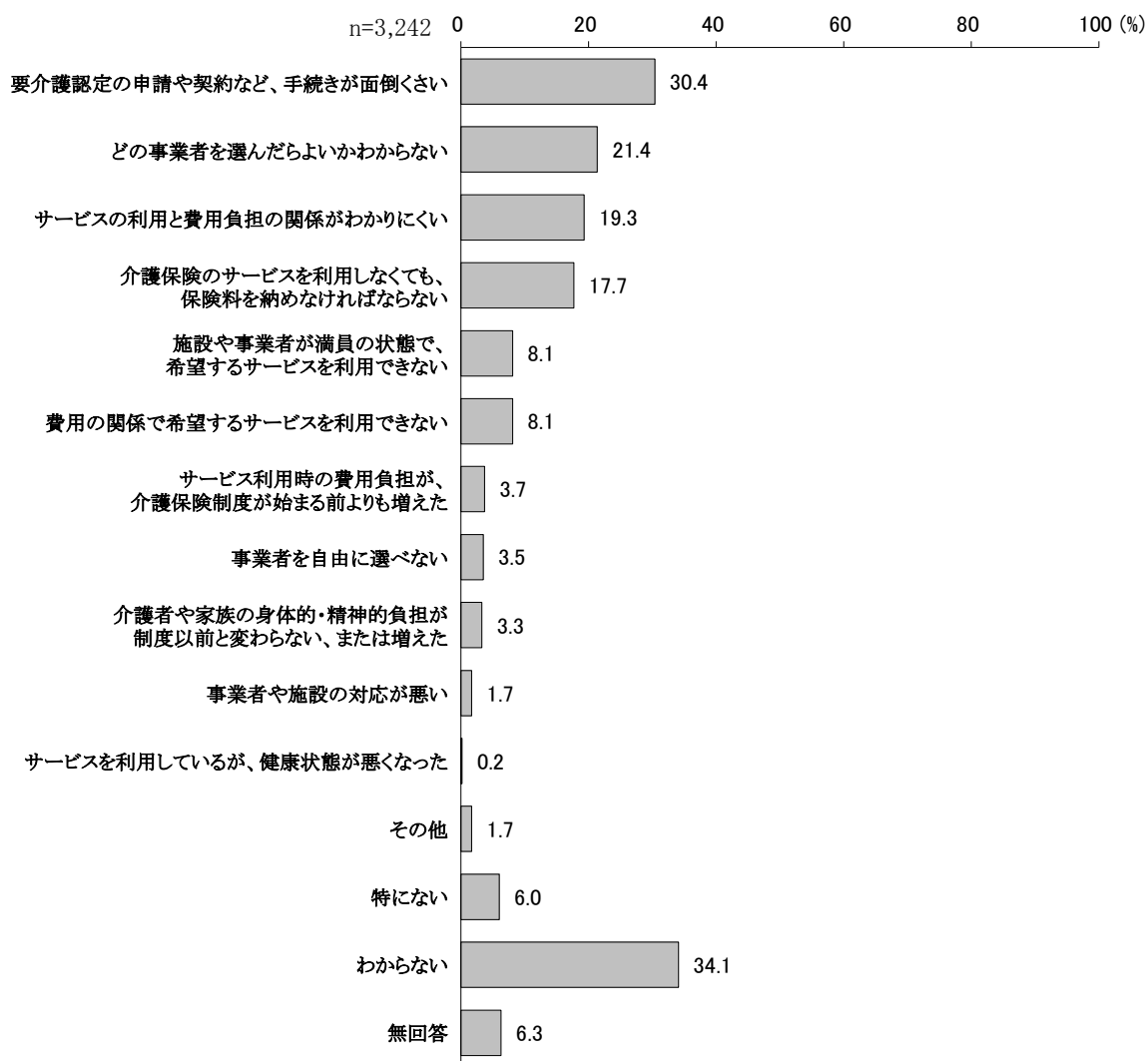
○介護保険制度のサービスを使うことによる利点は、「介護者や家族の身体的負担が減る」（67.7%）、「介護者や家族の精神的負担が減る」（63.8%）が多く、家族の負担軽減が上位となっています。



（5）介護保険制度で不十分なもの【複数回答】

問33 介護保険制度のサービスについて、不十分だと思われる点は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

○介護保険制度で不十分なものは、「要介護認定の申請や契約など、手続きが面倒くさい」（30.4%）が最も多く、次いで、「どの事業者を選んだらよいかわからない」（21.4%）、「サービスの利用と費用負担の関係がわかりにくい」（19.3%）、「介護保険のサービスを利用しなくても、保険料を納めなければならない」（17.7%）となっています。

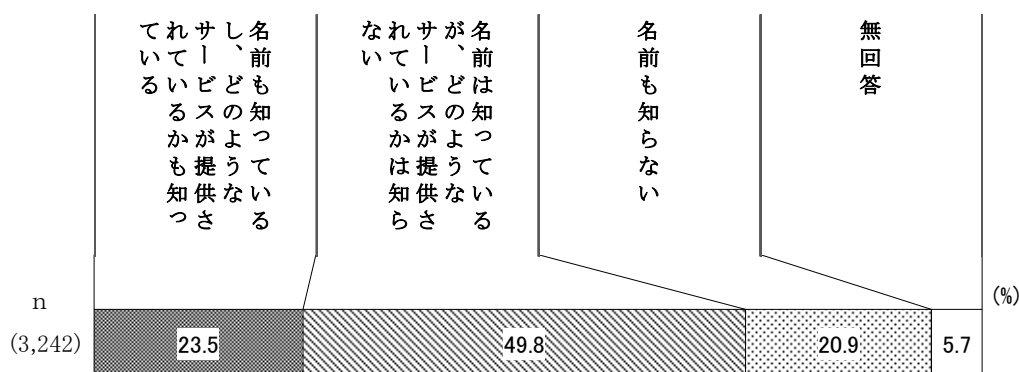


14 地域包括支援センターについて

（1）地域包括支援センターの認知度

問34 地域包括支援センターについて知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

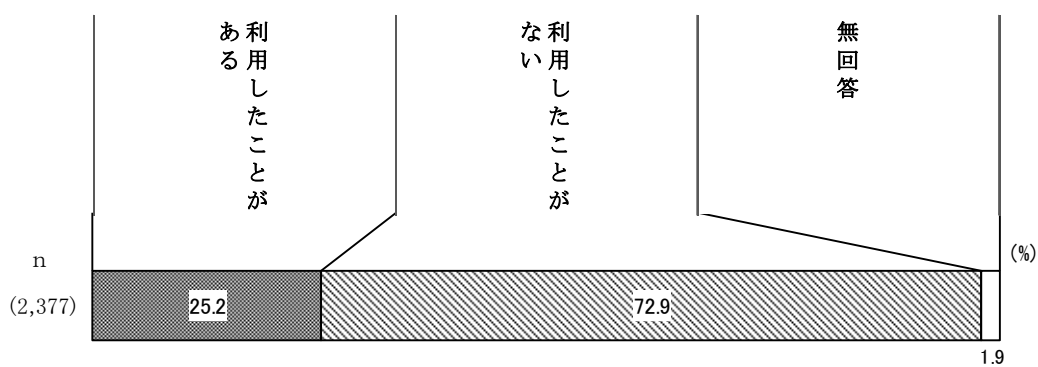
○地域包括支援センターの認知度は、「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」（49.8%）と「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」（23.5%）を合わせた《知っている》が73.3%を占めています。前回調査（平成28年度）に比べ、「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」（44.6%）は5.2ポイント、「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」（22.2%）は1.3ポイント高くなり、これらを合わせた《知っている》（66.8%）は6.5ポイント高くなっています。



（2）地域包括支援センターの利用経験

問34-(1) 【問34で「名前も知っているし、どのようなサービスが提供されているかも知っている」「名前は知っているが、どのようなサービスが提供されているかは知らない」に回答した方】
ご本人やご家族のことに関して、地域包括支援センターを利用したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

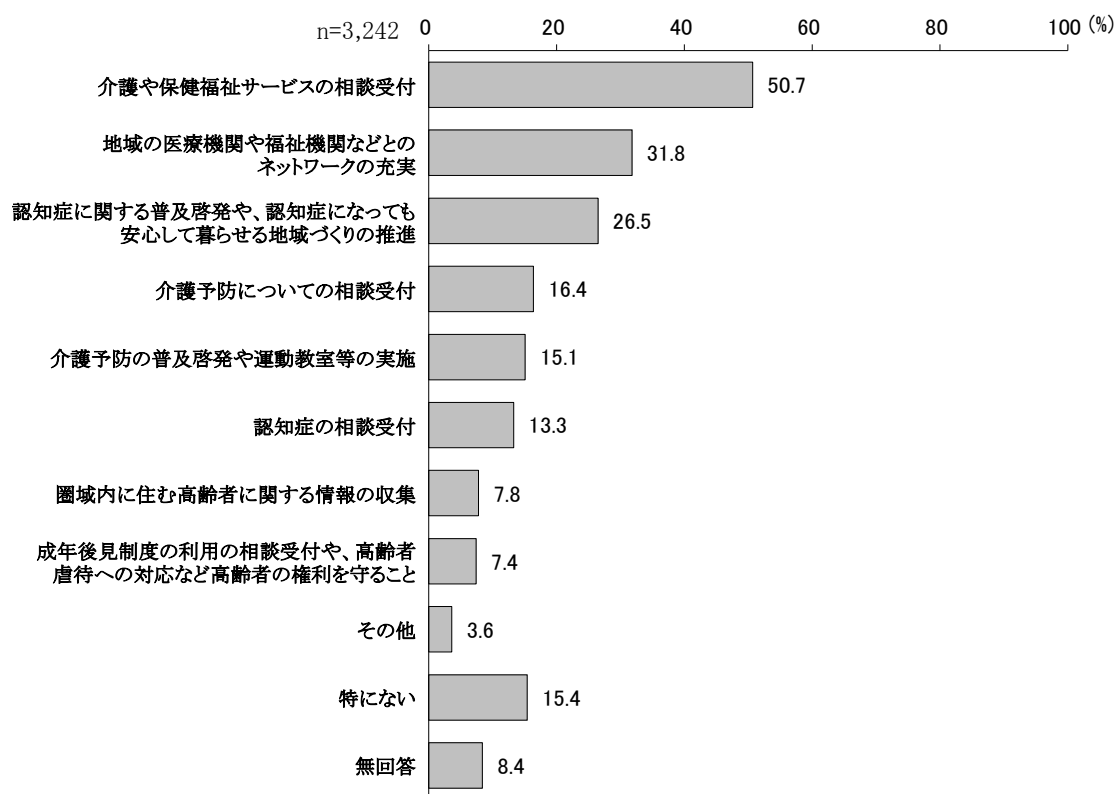
○地域包括支援センターの利用経験は、「利用したことがない」が72.9%を占めており、「利用したことがある」（25.2%）を大きく上回っています。



（3）地域包括支援センターに今後期待すること【複数回答】

問35 地域包括支援センターに今後どのようなことを期待しますか。
（主なもの3つまで○）

○地域包括支援センターに今後期待することは、「介護や保健福祉サービスの相談受付」（50.7%）が最も多く、次いで、「地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実」（31.8%）、「認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進」（26.5%）となっています。この順番は前回と同様ですが、前回調査（平成28年度）より、「認知症に関する普及啓発や、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進」（31.0%）は4.5ポイント、「認知症の相談受付」（17.6%）は4.3ポイント、「介護や保健福祉サービスの相談受付」（54.6%）は3.9ポイント低くなっています。

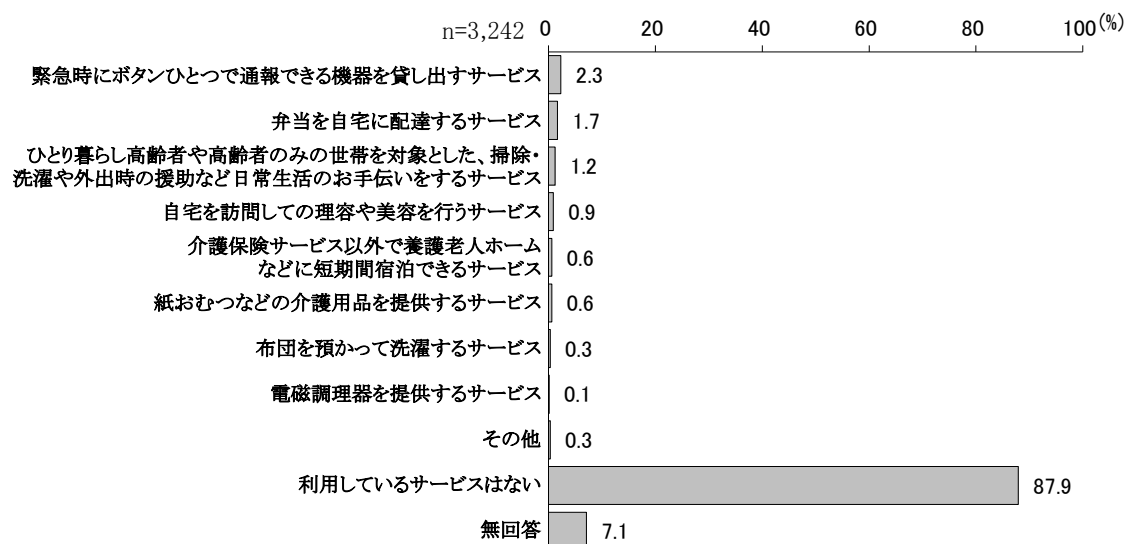


15 高齢者福祉サービスについて

（1）現在利用しているサービス【複数回答】

問36 日常生活の不便さを解消するために、現在利用しているサービスはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

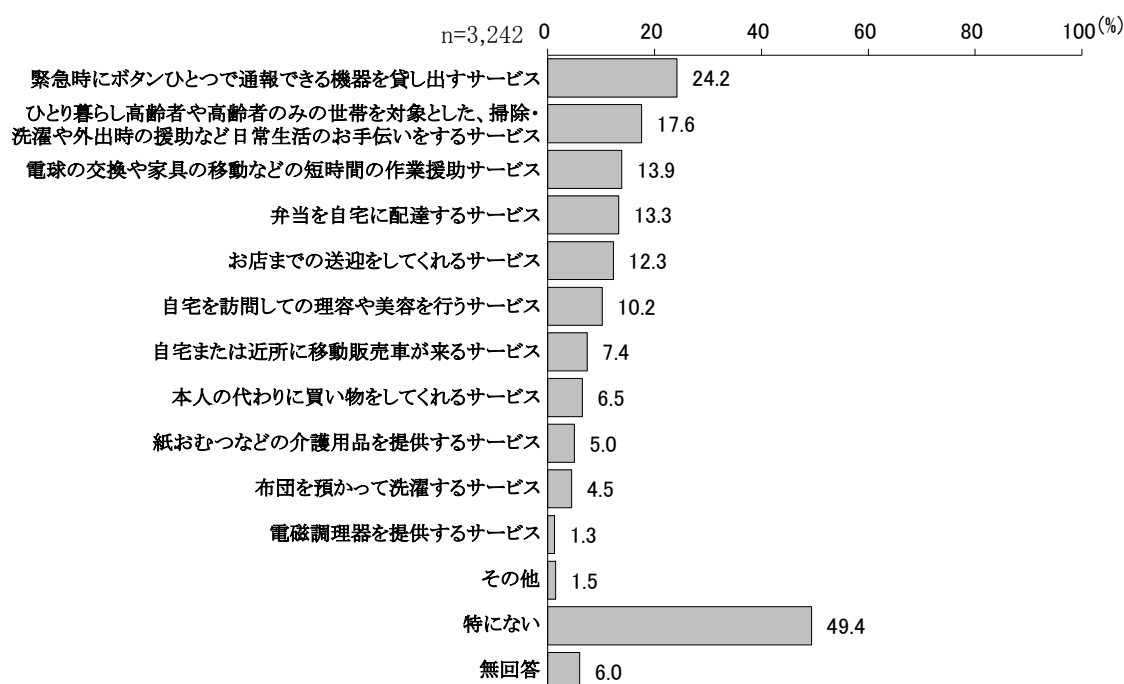
○サービスの利用については、「利用しているサービスはない」が87.9%を占めています。一方、現在利用しているサービスは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」（2.3%）、「弁当を自宅に配達するサービス」（1.7%）、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」（1.2%）となっています。



（2）今後利用したいサービス【複数回答】

問37 日常生活の不便さを解消するために、今後利用してみたい（引き続き利用したい）と思うサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

○今後利用したい（引き続き利用したい）サービスは、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」（24.2%）が最も多く、次いで、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象とした、掃除・洗濯や外出時の援助など日常生活のお手伝いをするサービス」（17.6%）、「電球の交換や家具の移動などの短時間の作業援助サービス」（13.9%）、「弁当を自宅に配達するサービス」（13.3%）、「お店までの送迎をしてくれるサービス」（12.3%）、「自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス」（10.2%）となっています。

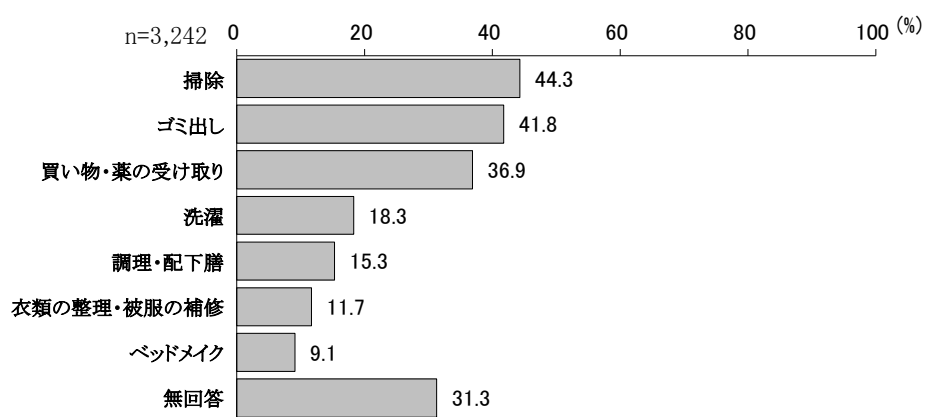


（3）地域のボランティアやNPO等の支援で良い訪問介護系サービスの種類

【複数回答】

問38 訪問介護（ホームヘルプサービス）で提供されるサービスのうち、資格職であるホームヘルパーではなく、地域のボランティアやお住まいの近くのNPO等による支援でも良いと考えるサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

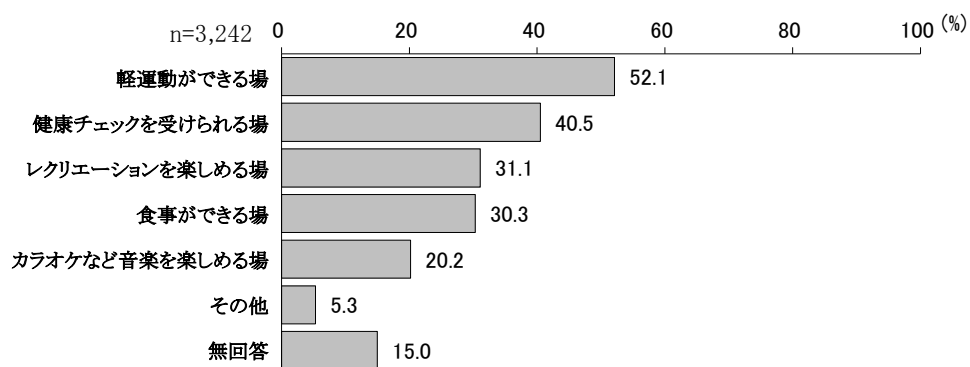
○地域のボランティアやNPO等の支援で良いと考える訪問介護系サービスの種類は、「掃除」（44.3%）が最も多く、次いで、「ゴミ出し」（41.8%）、「買い物・薬の受け取り」（36.9%）、となっています。



（4）閉じこもり予防に良いと考える通いの場の種類【複数回答】

問39 自宅の中に閉じこもりがちにならないためには、どのような通いの場（サロン、茶話会、サークルなど）があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

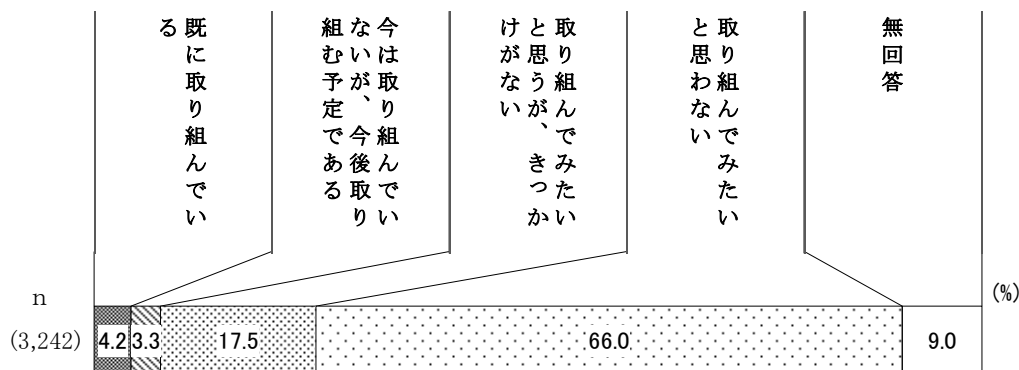
○閉じこもり予防に良いと考える通いの場の種類は、「軽運動ができる場」（52.1%）が最も多く、次いで、「健康チェックを受けられる場」（40.5%）、「レクリエーションを楽しめる場」（31.1%）、「食事ができる場」（30.3%）となっています。



（5）高齢者を支援する仕事やボランティア活動への取り組み意向

問40 親族・知人以外の高齢者の身の回りの世話や生活のお手伝いをする仕事やボランティア活動に取り組んでみたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

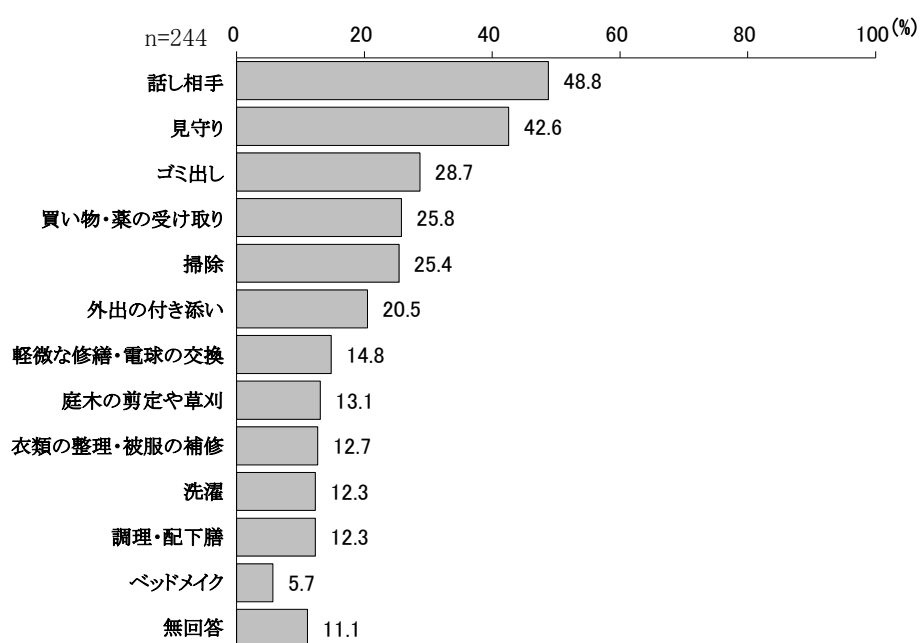
○高齢者を支援する仕事やボランティア活動への取り組み意向は、「取り組んでみたいと思わない」（66.0％）が最も多く、次いで、「取り組んでみたいと思うが、きっかけがない」（17.5％）となっています。前回調査（平成28年度）より、「取り組んでみたいと思わない」（57.3％）は8.7ポイント高くなっています。



（6）活動中または取り組みたい活動内容【複数回答】

問40-(1) 【問40で「既に取り組んでいる」「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定である」に回答した方】
 どのような活動をしている、または取り組む予定ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

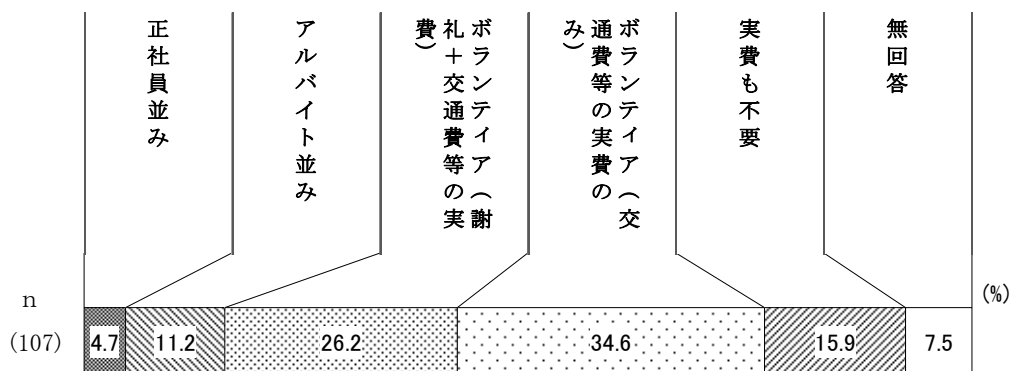
○活動中または取り組みたい活動内容は、「話し相手」（48.8%）が最も多く、次いで、「見守り」（42.6%）、「ゴミ出し」（28.7%）、「買い物・薬の受け取り」（25.8%）、「掃除」（25.4%）となっています。



（7）取り組みたい活動に対する報酬額

問40-(2) 【問40で「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定である」に回答した方】
 報酬はどの程度を期待しますか。（あてはまるもの1つに○）

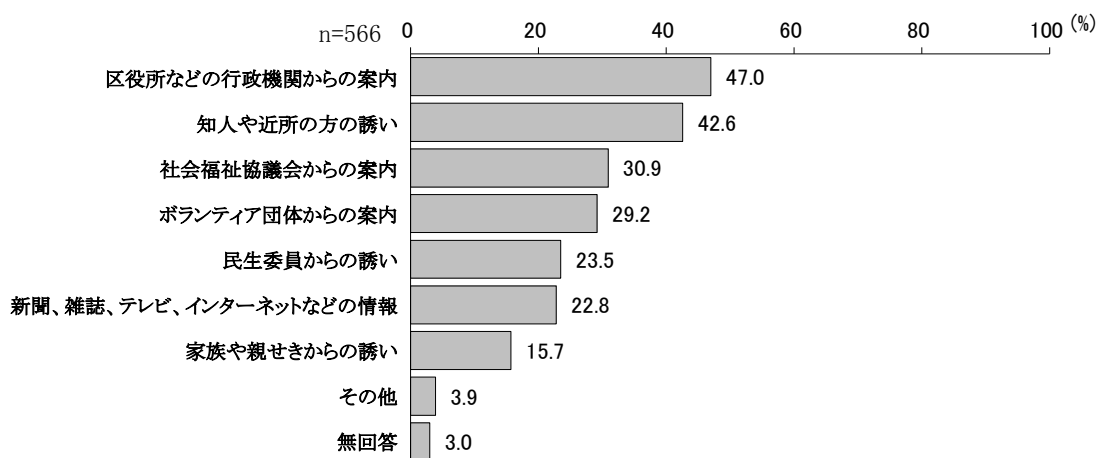
○取り組みたい活動に対する報酬額は、「ボランティア（交通費等の実費のみ）」（34.6%）が最も多く、次いで、「ボランティア（謝礼+交通費等の実費）」（26.2%）、「実費も不要」（15.9%）となっています。



（8）取り組みをはじめる際のきっかけ【複数回答】

問40-(3) 【問40で「取り組んでみたいと思うが、きっかけがない」に回答した方】
 どのようなきっかけがあれば取り組んでみますか。
 （あてはまるものすべてに○）

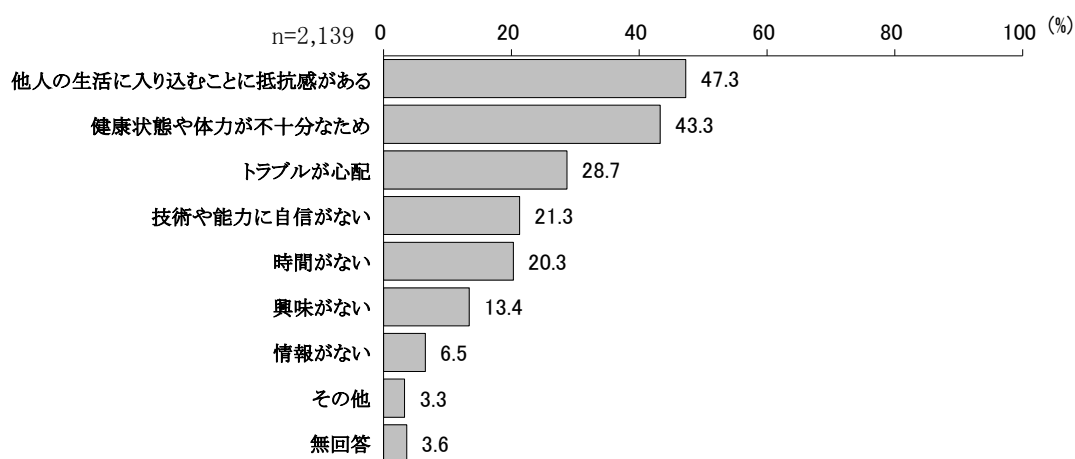
○高齢者を支援する仕事やボランティア活動への取り組みをはじめる際のきっかけは、「区役所などの行政機関からの案内」（47.0%）が最も多く、次いで、「知人や近所の方の誘い」（42.6%）、「社会福祉協議会からの案内」（30.9%）、「ボランティア団体からの案内」（29.2%）となっています。



（9）取り組みたくない理由【複数回答】

問40-(4) 【問40で「取り組んでみたいと思わない」に回答した方】
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

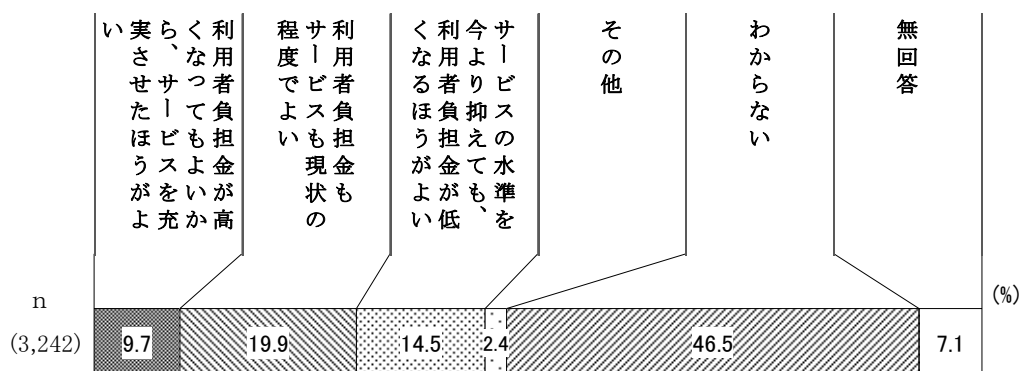
○高齢者を支援する仕事やボランティア活動に取り組まない理由は、「他人の生活に入り込むことに抵抗感がある」（47.3%）が最も多く、次いで、「健康状態や体力が不十分なため」（43.3%）、「トラブルが心配」（28.7%）となっています。



(10) 高齢者福祉サービスの利用者負担金の考え方

問41 介護保険以外の高齢者福祉サービスを利用するにあたって、一定程度の利用者負担金を頂いている場合がありますが、この利用者負担金について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○介護保険以外の高齢者福祉サービスの利用者負担金の考え方は、「利用者負担金もサービスも現状の程度でよい」（19.9%）が最も多く、次いで、「サービスの水準を今より抑えても、利用者負担金が低くなるほうがよい」（14.5%）、「利用者負担が高くなってもよいから、サービスを充実させたほうがよい」（9.7%）となっています。また、「わからない」が46.5%を占めています。なお、前回調査（平成28年度）では、「利用者負担金もサービスも現状の程度でよい」が22.9%で、今回は3.0ポイント低くなっています。

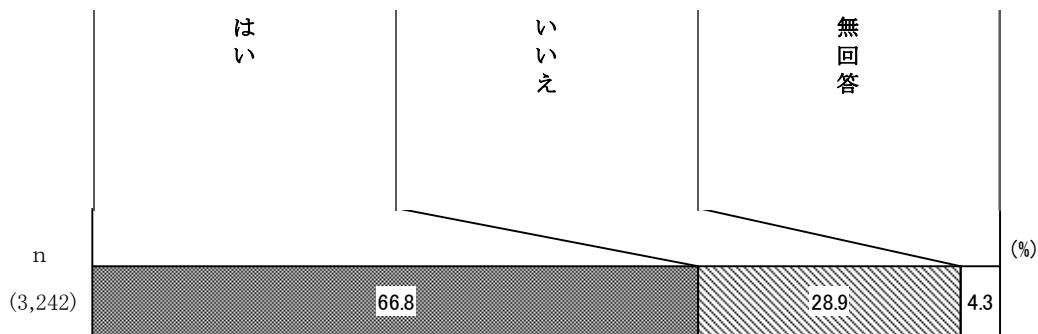


16 介護予防について

（1）介護予防の認知度

問42 「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

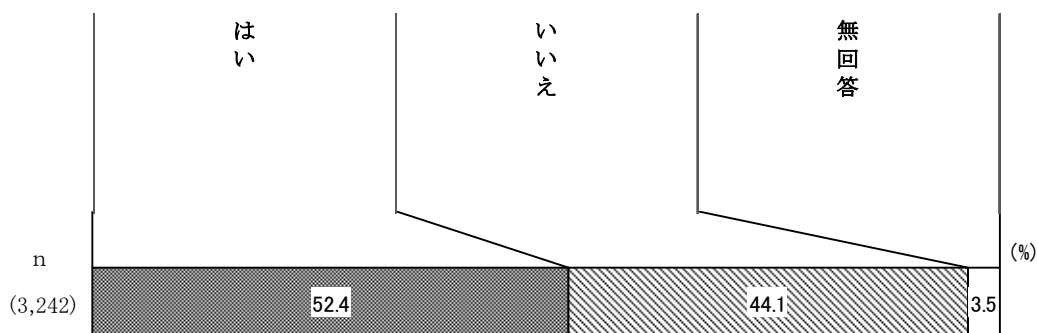
○「介護予防」という言葉を聞いたことがある人が66.8%、聞いたことがないという人は28.9%となっています。



（2）介護予防についての取り組み状況

問43 介護予防について、何か取り組んでいることはありますか。（あてはまるもの1つに○）

○介護予防についての取り組み状況は、取り組んでいる人が52.4%、取り組んでいない人が44.1%と、取り組んでいる人が上回っています。



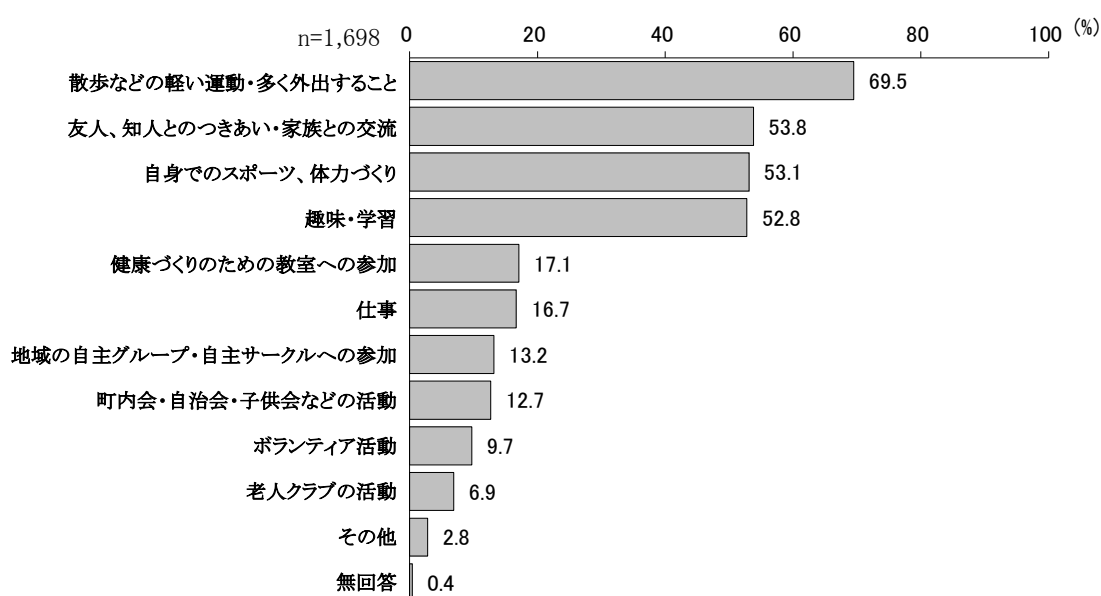
（3）介護予防のために取り組んでいること【複数回答】

問43-(1) 【問43で「はい」に回答した方】

介護予防として現在取り組んでいることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

○介護予防のために取り組んでいることは、「散歩などの軽い運動・多く外出すること」（69.5%）が最も多く、次いで、「友人、知人とのつきあい・家族との交流」（53.8%）、「自身でのスポーツ・体力づくり」（53.1%）、「趣味・学習」（52.8%）となっており、この上位4項目は前回調査（平成28年度）と同じ項目となっています。

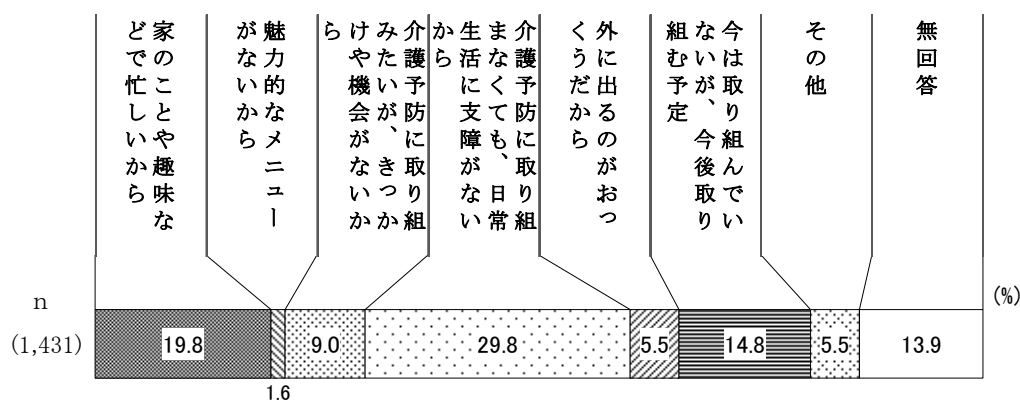


（4）介護予防に取り組まない理由

問43-(2) 【問43で「いいえ」に回答した方】

介護予防について、取り組まない理由は何ですか。（あてはまるもの1つに○）

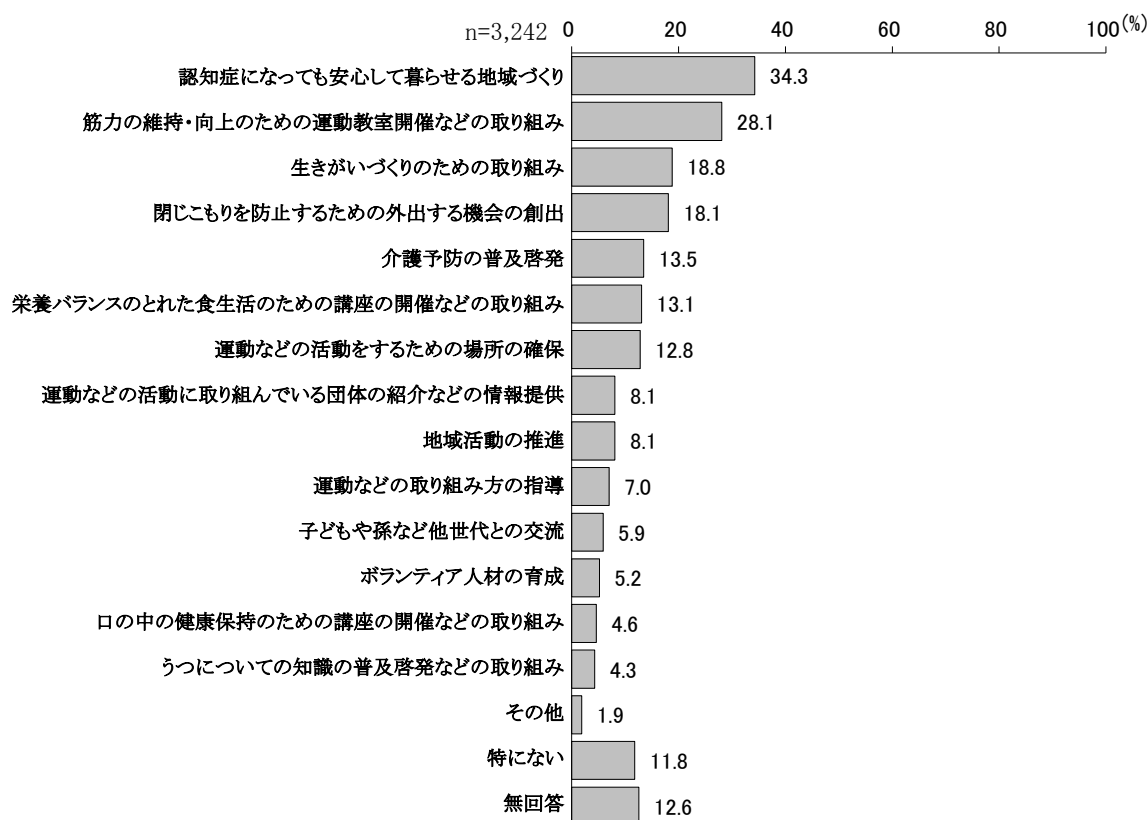
○介護予防に取り組まない理由は、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」（29.8%）が最も多く、次いで、「家のことや趣味などで忙しいから」（19.8%）、「今は取り組んでいないが、今後取り組む予定」（14.8%）となっています。



（5）介護予防に関し仙台市に力を入れて欲しいこと【複数回答】

問44 いつまでも自立していきいきと生活するには、介護予防に取り組むことが重要となります。今後仙台市に力を入れて欲しい取り組みは、次のうちどれですか。
（あてはまるもの3つまで○）

○介護予防に関し仙台市に力を入れて欲しいことは、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」（34.3%）が最も多く、次いで、「筋力の維持・向上のための運動教室開催などの取り組み」（28.1%）、「生きがいづくりのための取り組み」（18.8%）、「閉じこもりを防止するための外出する機会の創出」（18.1%）となっています。なお、前回調査（平成28年度）では、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」が43.8%で、今回は9.5ポイント低くなっています。

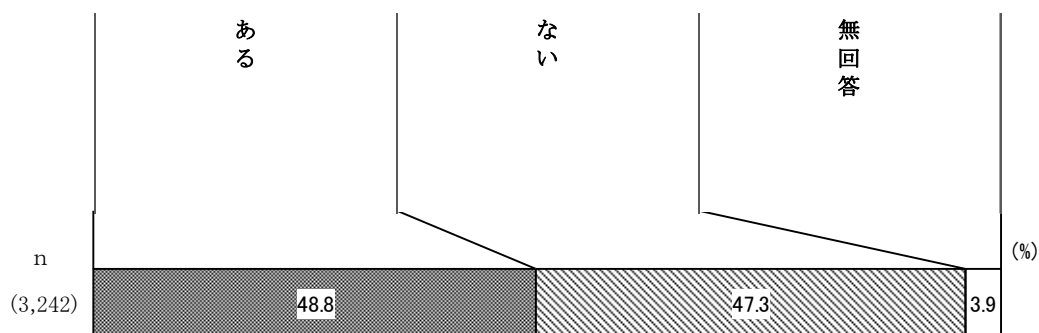


17 認知症対策について

（1）認知症の人と接する機会の有無

問45 あなたは認知症の人と接したことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

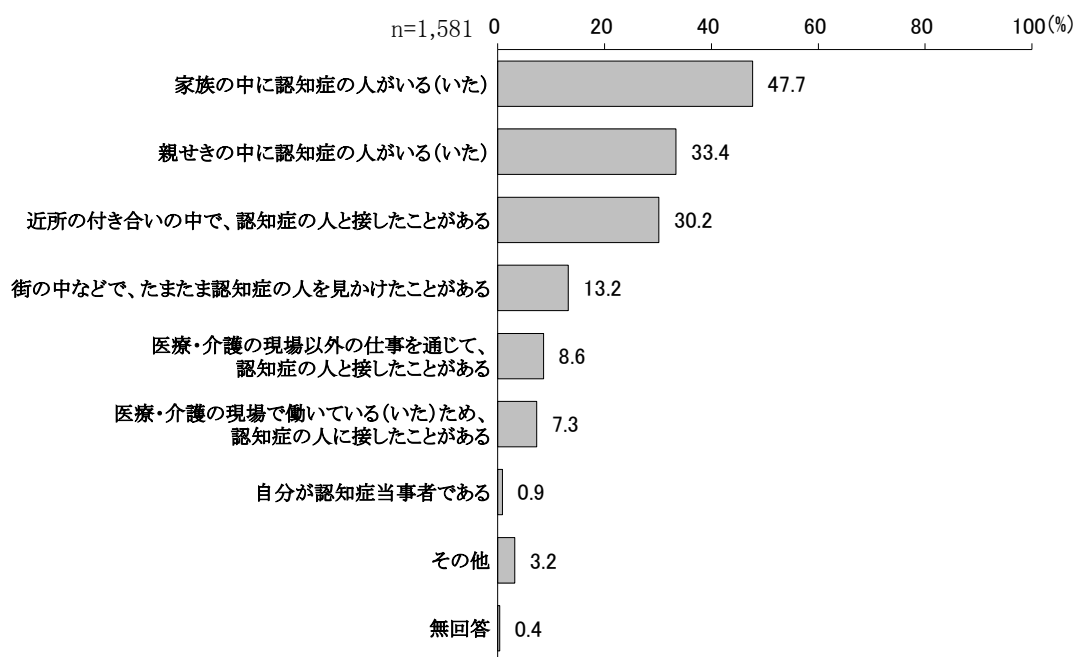
○認知症の人と接する機会の有無は、「ある」が48.8%、「ない」が47.3%となっています。



（2）認知症の人と接した経験【複数回答】

問45-(1) 【問45で「ある」に回答した方】
 （認知症の人と接した）経験があるものを選んでください。
 （あてはまるものすべてに○）

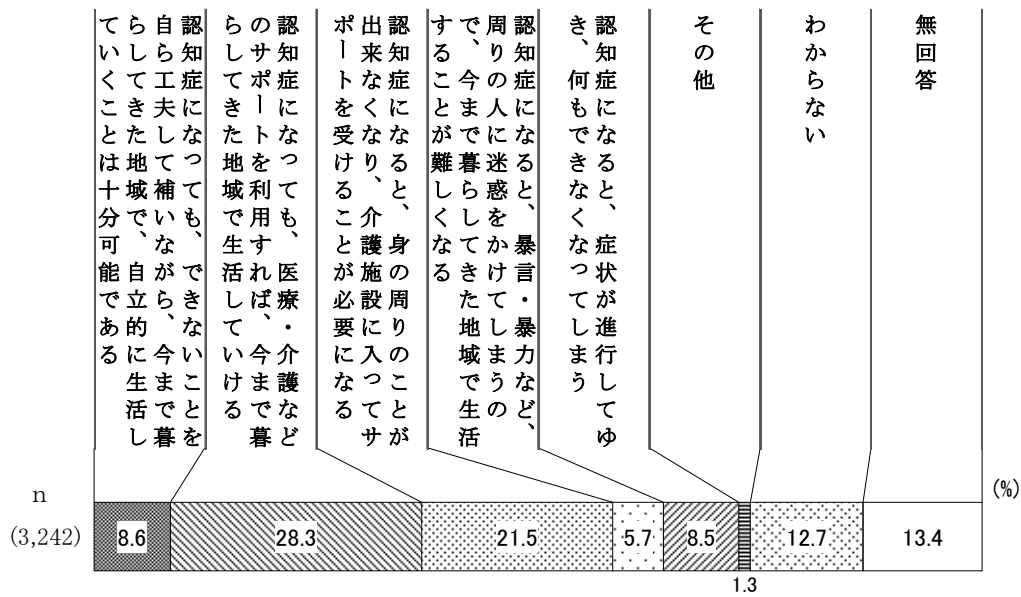
○認知症の人と接した経験は、「家族の中に認知症の人がいる（いた）」（47.7%）が最も多く、次いで、「親せきの中に認知症の人がいる（いた）」（33.4%）、「近所の付き合いの中で、認知症の人と接したことがある」（30.2%）となっています。



（3）認知症に対するイメージ

問46 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。（あてはまるもの1つに○）

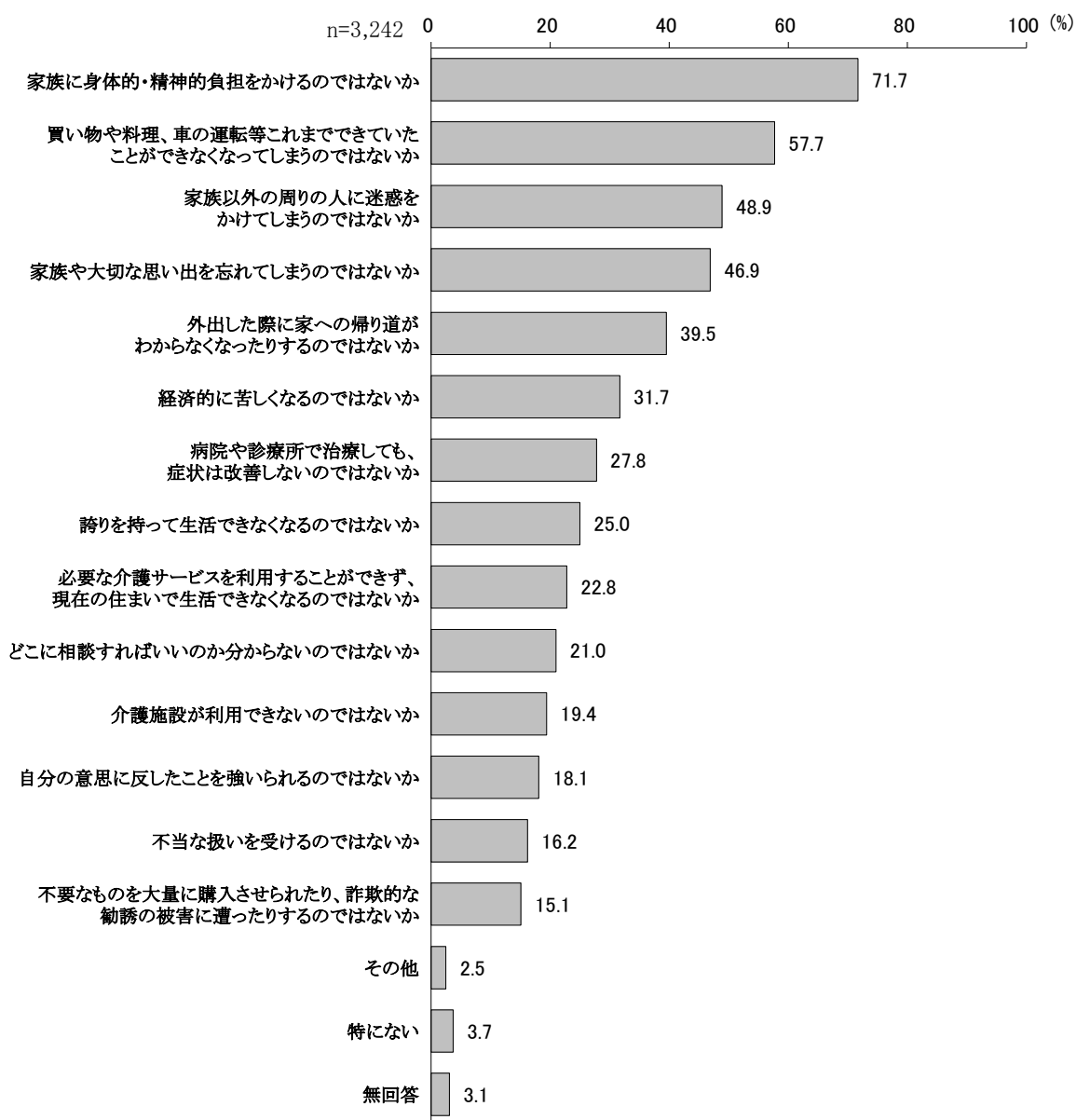
○認知症に対するイメージは、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活していける」（28.3%）が最も多く、次いで、「認知症になると、身の周りのことが出来なくなり、介護施設に入ってサポートを受けることが必要になる」（21.5%）となっています。



（4）認知症の方または認知症になった際の不安感【複数回答】

問47 もしあなた自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。または、ご自身が認知症の方は、どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

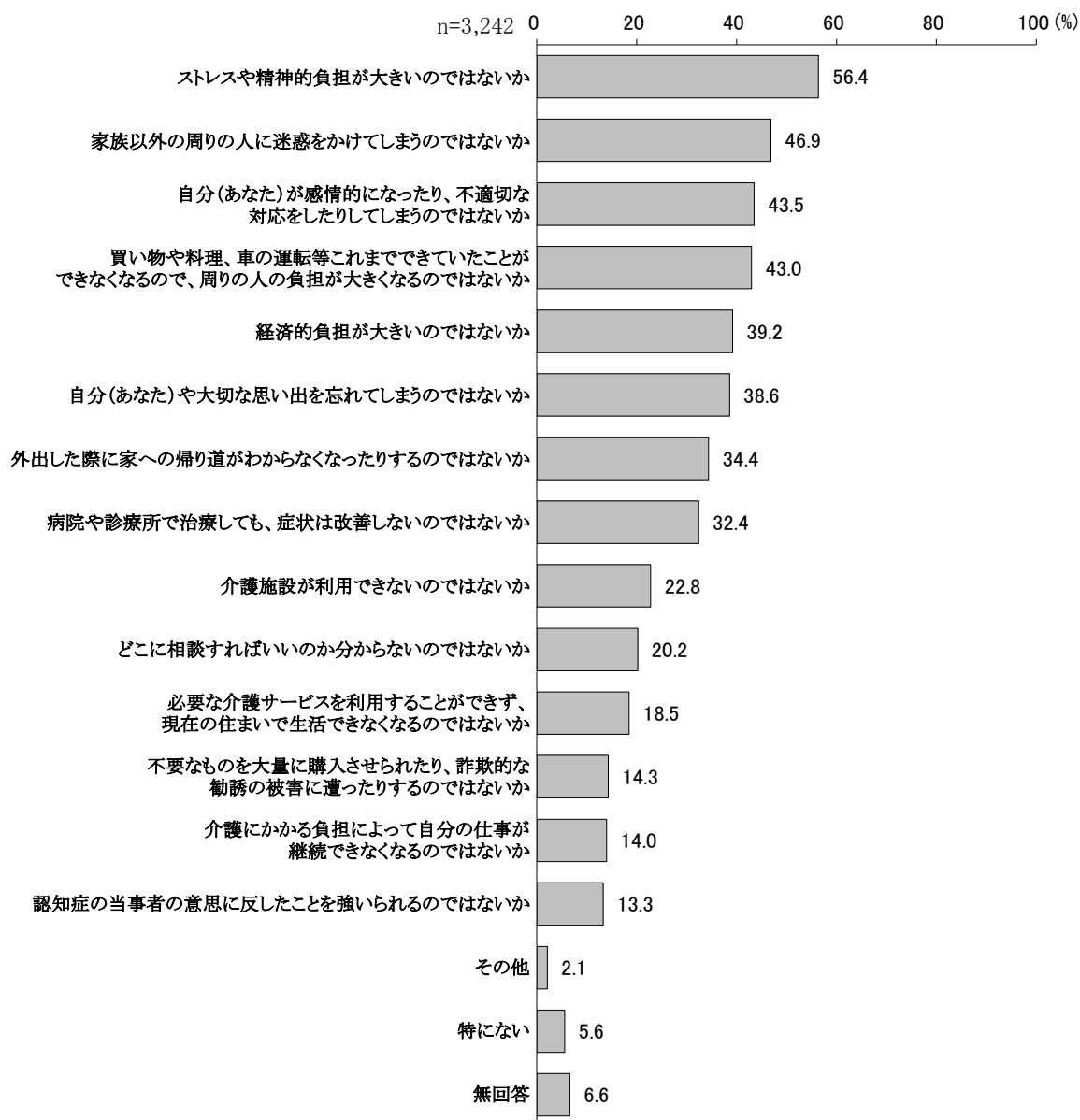
○認知症の方または自身が認知症になった際の不安感は、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」（71.7%）が最も多く、次いで、「買い物や料理、車の運転等これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」（57.7%）、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」（48.9%）、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」（46.9%）となっています。



（5）認知症の家族がいる方または家族が認知症になった際の不安感【複数回答】

問48 もしあなたの家族が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに不安を感じるとお考えですか。認知症のご家族がいる方は、どのようなことに不安を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

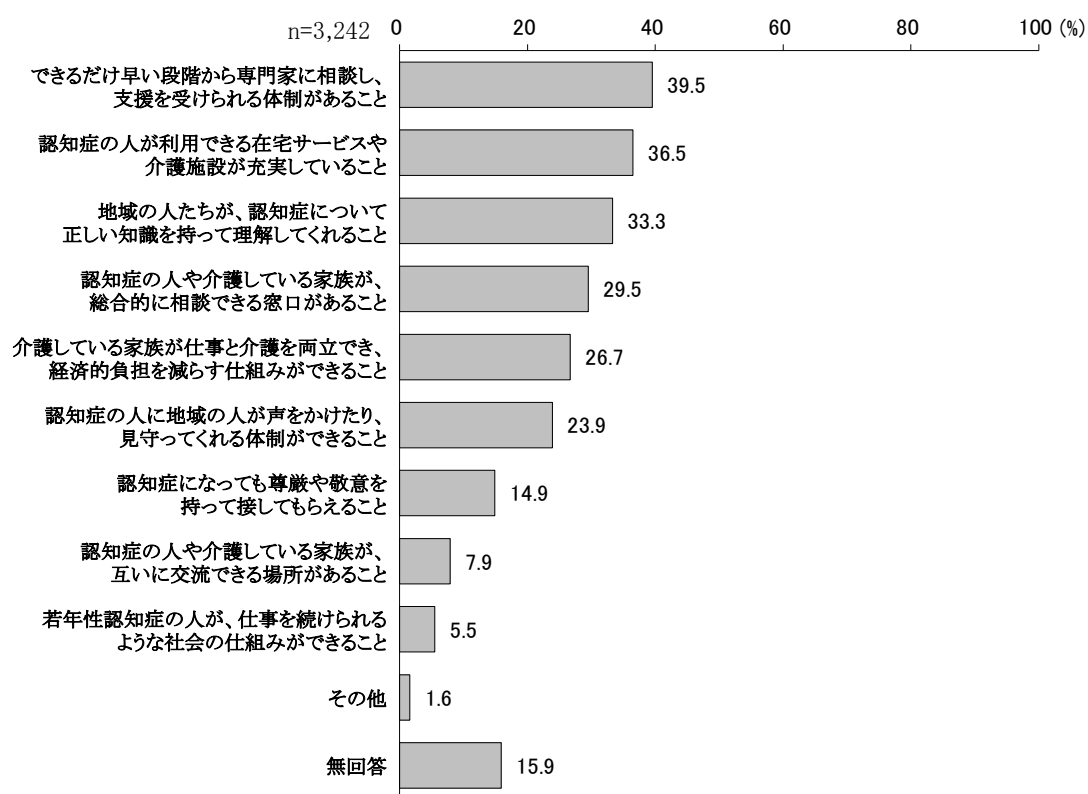
○認知症の家族がいる方または家族が認知症になった際の不安感は、「ストレスや精神的負担が大きいのではないか」（56.4%）が最も多く、次いで、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」（46.9%）、「自分（あなた）が感情的になったり、不適切な対応をしたりしてしまうのではないか」（43.5%）、「買い物や料理、車の運転等これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないか」（43.0%）となっています。



（6）認知症になっても安心して生活するために必要なこと【複数回答】

問49 認知症になっても安心して生活するには、どのようなことが必要と考えますか。
（あてはまるもの3つまで○）

○認知症になっても安心して生活するために必要なことは、「できるだけ早い段階から専門家に相談し、支援を受けられる体制があること」（39.5%）が最も多く、次いで、「認知症の人が利用できる在宅サービスや介護施設が充実していること」（36.5%）、「地域の人たちが、認知症について正しい知識を持って理解してくれること」（33.3%）となっています。

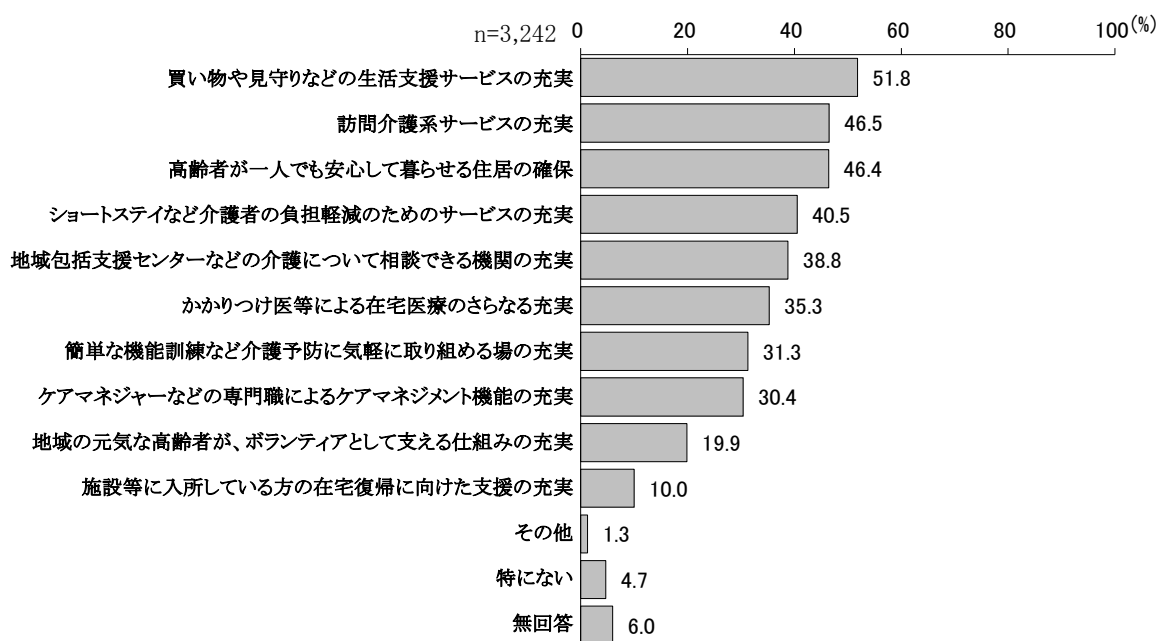


18 地域包括ケアシステムについて

（1）地域包括ケアシステムのために必要なこと【複数回答】

問50 今後、高齢者の増加にともない、介護が必要な方も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○要介護状態になってもできるだけ在宅で暮らしていくことができる社会（地域包括ケアシステムの深化・推進）を目指すために必要なことは、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」（51.8%）が最も多く、次いで、「訪問介護系サービスの充実」（46.5%）、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」（46.4%）となっています。前回調査（平成28年度）より、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」（30.5%）は21.3ポイント高くなっています。

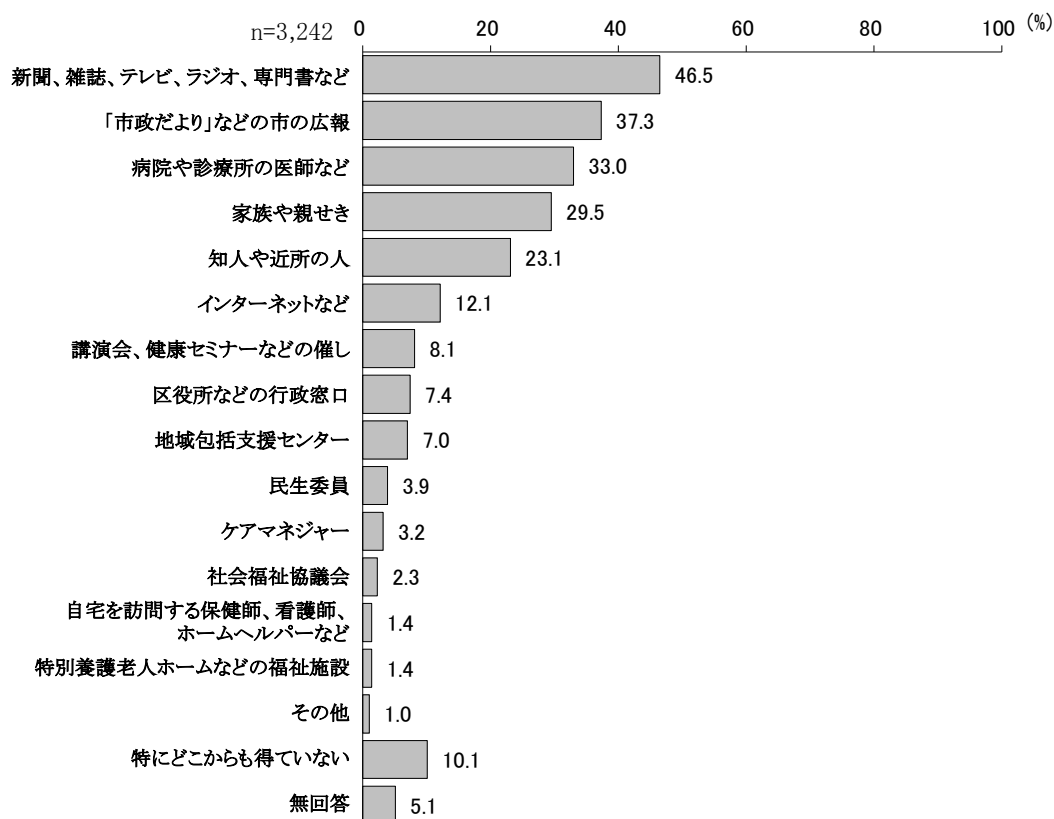


19 健康や福祉の情報入手について

（1）健康や福祉に関する情報の入手先【複数回答】

問51 ご本人に関係する健康や福祉の情報は、どこから得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

○健康や福祉に関する情報の入手先は、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、専門書など」(46.5%)が最も多く、次いで、『『市政だより』などの市の広報」(37.3%)、「病院や診療所の医師など」(33.0%)、「家族や親せき」(29.5%)、「知人や近所の人」(23.1%)となっています。この順番は前回と同様ですが、前回調査（平成28年度）では第9位であった「インターネットなど」(8.0%)は、今回は第6位で、4.1ポイント高くなっています。

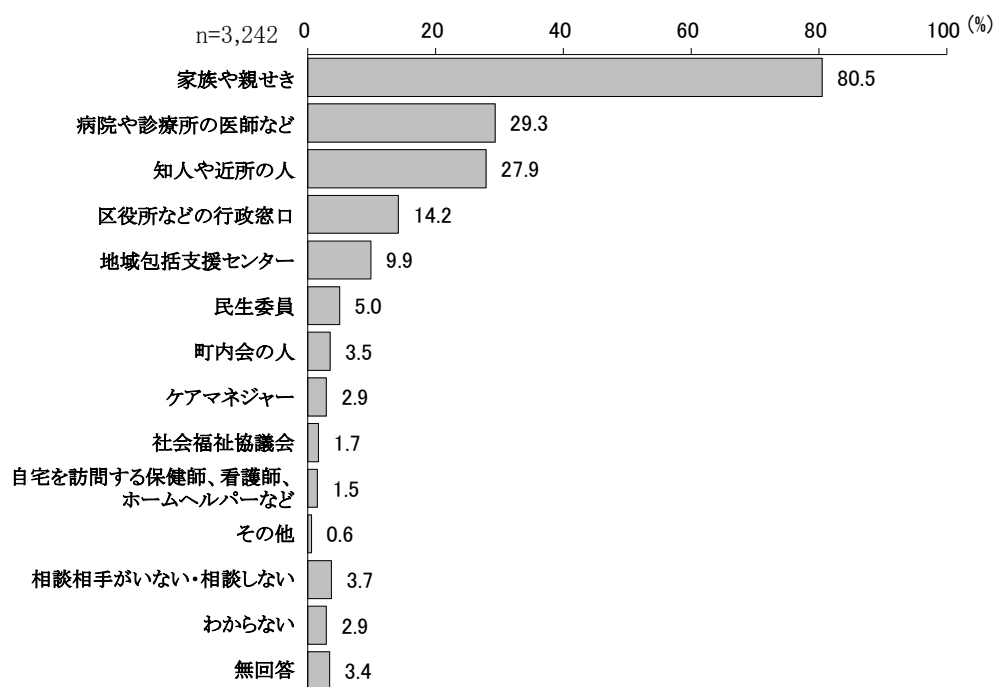


20 相談相手について

（1）悩みごとの相談相手【複数回答】

問52 あなた自身になにか困りごとや悩みごとがあったときに相談する相手はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

○悩みごとや困りごとがあったときの相談相手は、「家族や親せき」（80.5%）が最も多く、次いで、「病院や診療所の医師など」（29.3%）、「知人や近所の人」（27.9%）となっています。

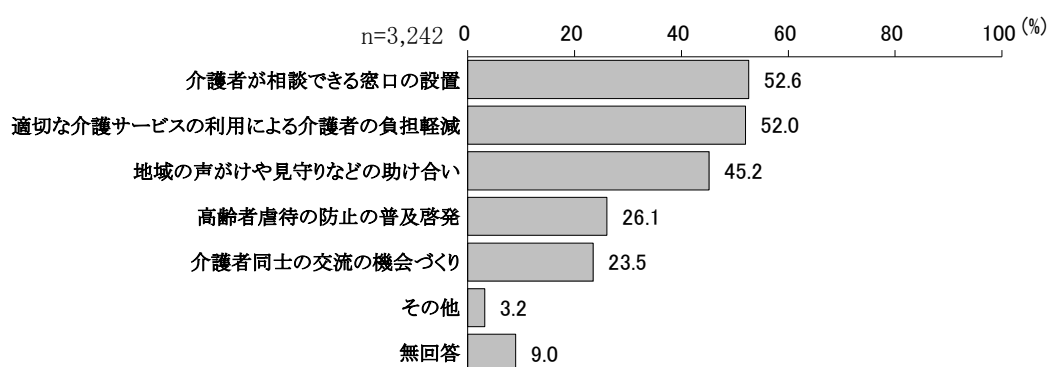


21 高齢者虐待防止について

（1）高齢者に対する虐待の防止のために必要な取り組み【複数回答】

問53 最近、高齢者に対する虐待についての関心が高まっており、その防止のための取り組みが必要になっています。
 高齢者に対する虐待が起きないための取り組みとして必要だと思うことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○高齢者に対する虐待の防止のために必要な取り組みは、「介護者が相談できる窓口の設置」（52.6%）が最も多く、次いで、「適切な介護サービスの利用による介護者の負担軽減」（52.0%）、「地域の声がけや見守りなどの助け合い」（45.2%）となっています。

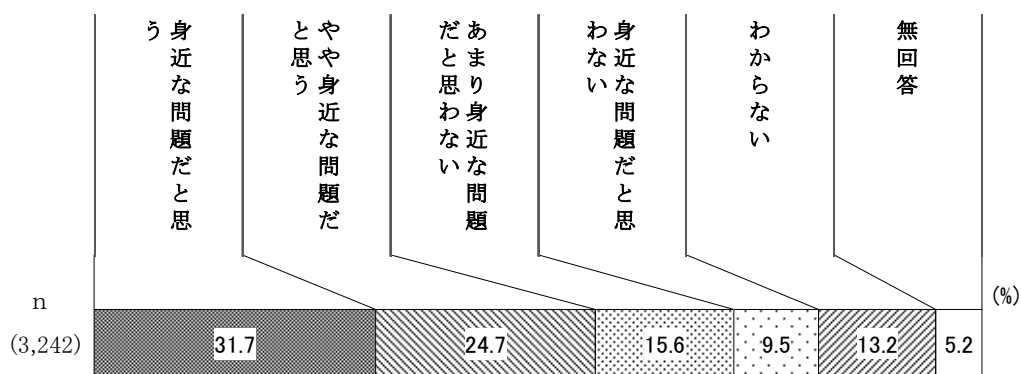


22 孤立死について

（1）孤立死に対する考え

問54 孤立死について、どのように考えますか。（あてはまるもの1つに○）

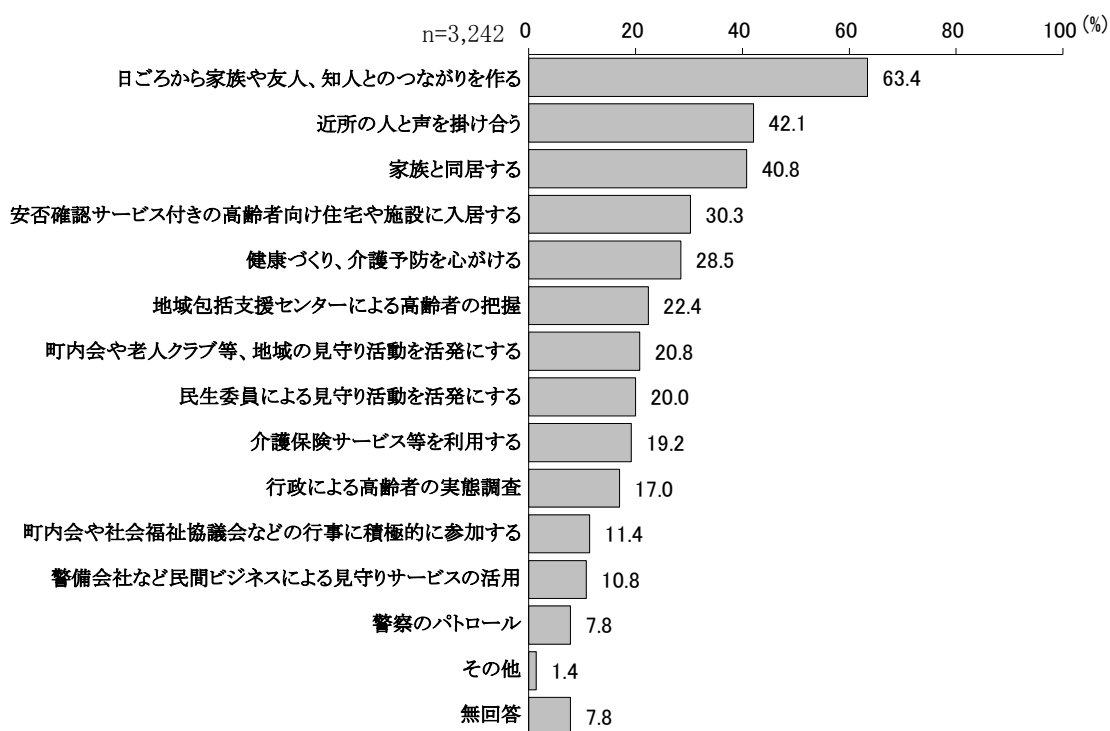
○孤立死に対する考えは、「身近な問題だと思う」（31.7%）と「やや身近な問題だと思う」（24.7%）を合わせた56.4%が身近な問題と感じている状況です。一方、「あまり身近な問題だと思わない」（15.6%）と「身近な問題だと思わない」（9.5%）を合わせた25.1%は身近な問題だ感じていない状況です。



（2）孤立死を防ぐために有効な手段【複数回答】

問55 孤立死を防ぐためにどのようなことが有効だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

○孤立死を防ぐために有効な手段は、「日ごろから家族や友人、知人とのつながりを作る」（63.4%）が最も多く、次いで、「近所の人と声を掛け合う」（42.1%）、「家族と同居する」（40.8%）となっています。

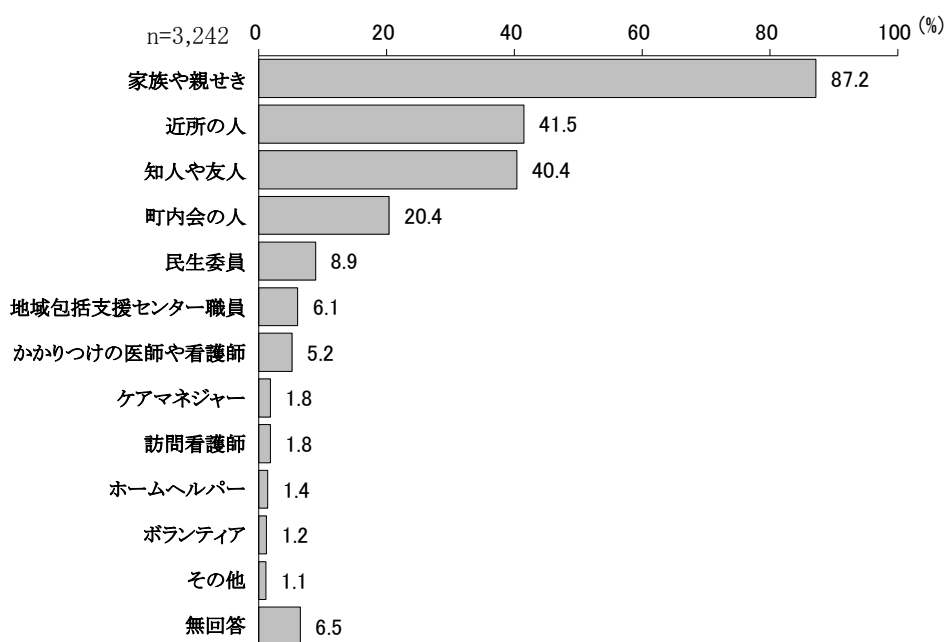


23 災害時の安否確認について

（1）災害時には誰に安否確認をしてほしいか【複数回答】

問56 地震などの災害が起きた場合、誰に安否確認をしてもらいたいですか。
（あてはまるものすべてに○）

○災害時には誰に安否確認をしてほしいかでは、「家族や親せき」（87.2%）が最も多く、次いで、「近所の人」（41.5%）、「知人や友人」（40.4%）となっています。前回調査（平成28年度）では「近所の人」が56.1%で、今回は14.6ポイント低くなっています。

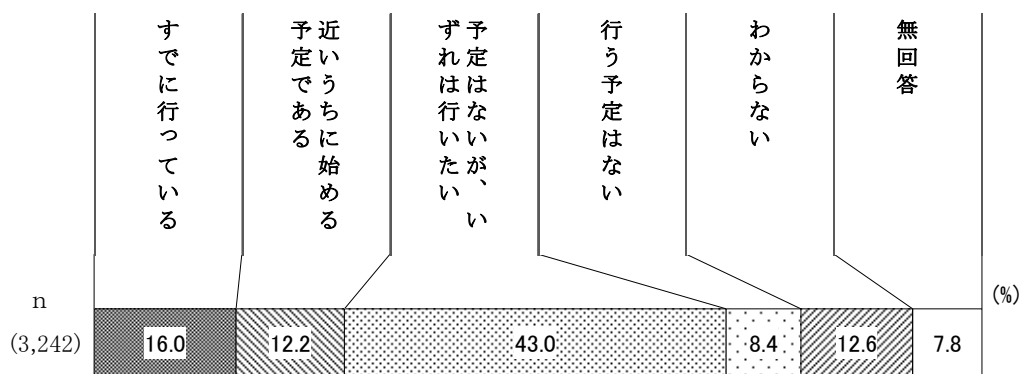


24 終活について

（1）終活を行う予定の有無

問57 近年、人生のエンディングに向けた準備を行う「終活」という取り組みが行われるようになっていますが、あなたは今後「終活」を行う予定がありますか。
（あてはまるもの1つに○）

○終活を行う予定は、「予定はないが、いずれは行いたい」（43.0%）が最も多く、次いで、「すでに行っている」（16.0%）、「近いうちに始める予定である」（12.2%）となっており、「すでに行っている」（16.0%）、「近いうちに始める予定である」（12.2%）となっています。



25 仙台市への意見・要望について（自由記述）

アンケートの最後に、自由に発言していただける欄を設けたところ、601名の方から、801件の意見が寄せられました。意見内容を分類し、多い順に示した結果は下表のとおりです。

順位	項目	意見数（件）	比率（%）
1	高齢者施策全般	141	17.6
2	日常生活について	115	14.4
3	介護保険制度について	100	12.5
4	福祉全般について	79	9.9
5	経済的負担の軽減	74	9.2
6	アンケートについて	62	7.7
7	情報提供	53	6.6
8	施設サービスの充実	43	5.4
9	感謝	32	4.0
10	相談、手続き体制	31	3.9
11	市政全般	27	3.4
12	介護の負担	14	1.7
13	在宅サービスの充実	11	1.4
	その他	19	2.4
合計		801	100.0